



ISAHAYA CITY MASTER PLAN

第3次諫早市総合計画
2026 - 2035

来てよし、住んでよし、育ててよし!

輝く諫早 夢かなうまち



はじめに

本市は、豊かな自然と交通の要衝としての地理的優位性を活かし、農業、工業、商業がバランスよく発展してきたところであり、本市の特性を活かしたまちづくりを進める中で、多くの市民の皆様とともに歩みを重ね、確かなまちの基盤を築いてまいりました。

一方で、人口減少や少子高齢化の進展、デジタル化の加速、気候変動や自然災害への対応など、私たちを取り巻く社会経済環境は、近年ますます複雑化・多様化しています。加えて、ライフスタイルや価値観の変化により、行政サービスのあり方や地域コミュニティの役割にも新たな視点が求められています。

こうした時代の潮流を的確に捉えながら、これまで培ってきた本市の強みを最大限に活かし、未来を見据えた持続可能な活力あるまちづくりを進めていくため、「第3次諫早市総合計画」を策定いたしました。

今回の計画策定にあたっては、総合計画審議会での活発な議論をはじめ、市民アンケートや各種ワークショップなどを通じて多くの市民の皆様から貴重な御意見をいただくとともに、市議会からの御提言、関係機関との連携を得て、計画の実効性と整合性を高めることができました。御協力いただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

これからの10年は、「まち・ひと・しごと」が共に輝く社会の実現に向けて、本市が持つ可能性をさらに引き出す重要な期間です。次代を担う子どもたちの健やかな育成と安心できる子育て環境の整備、地場産業の振興と新たな雇用の創出、土地利用の自由度を高める新しい都市計画など、さまざまな取組に市民の皆様と共に果敢に挑戦してまいります。

今後とも、市民一人ひとりが主役となり、まちに暮らす全ての皆様が「未来の夢を描き、その夢がかなうまち・諫早」の実現のため、御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和8年3月

諫早市長

大久保 潔 重



目次

第1章 総合計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨 P1
- 2 計画の概要 P1

第2章 諫早市の課題と未来への展望

- 1 諫早市の現状 P2
- 2 まちづくりの課題 ～市民や事業者の声から～ P5
- 3 今後10年の主な出来事 P10

第3章 まちづくりの基本構想

- 1 将来都市像 P11
- 2 基本目標 P12
- 3 目標人口 P13

第4章 まちづくり計画

- 1 施策体系 P15
- 2 重点プロジェクト P17
- 3 分野別まちづくり計画 P19
 - チャレンジできるまち P20
 - 産業が活力を生み出すまち P32
 - 人を育む学びのまち P40
 - 誇りと賑わいのあるまち P46
 - 持続可能なまち P58
- 4 まちづくり計画の推進方策 P69

第1章 総合計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本市は、平成28年度を初年度とし、令和7年度を目標年度とする第2次諫早市総合計画を策定し、将来に向けたまちづくりを進めてきました。

近年、少子高齢化や人口減少、経済・社会環境の変化、災害や気候変動への対応など、本市を取り巻く状況は大きく変化しています。その一方で、本市においては、西九州新幹線の開業をはじめ、大手企業の進出や事業拡張、大規模商業施設の開業計画など市全体の発展や魅力向上につながる新たな動きも生まれています。

こうした変化や新たな機会を踏まえつつ、将来にわたり持続可能で活力あるまちを実現するため、第3次諫早市総合計画を策定することとしました。

2 計画の概要

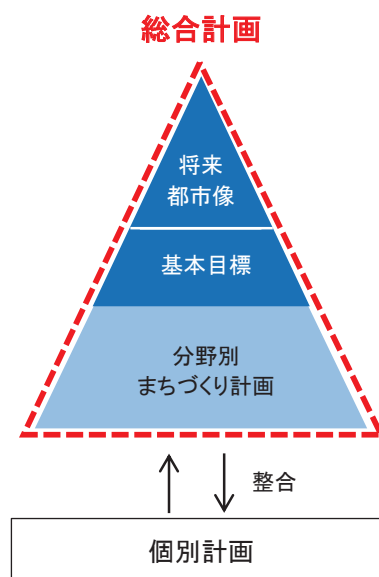
(1) 第3次総合計画の構成と期間

総合計画は、市の最上位計画として、市の将来像を描き、その実現に向けた基本的な方針や取組の方向性を示すものです。

本計画は、まちづくりの基本的な方向性を示す「将来都市像・基本目標」と具体的な施策からなる「分野別まちづくり計画」で構成します。

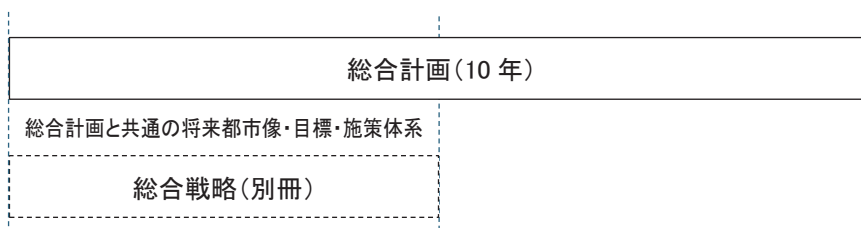
計画期間は、令和8年度を初年度とし、令和17年度までの10年間とします。

なお、期間中に重大な社会情勢の変化などが生じた場合は適宜見直しを行います。



(2) 総合計画と総合戦略の関連性

諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、総合計画と「将来都市像・基本目標・施策体系」を共通としながら、少子高齢化や人口減少対策を戦略的に推進していくための具体的な施策と達成目標(KPI)をまとめたものです。計画期間を5年間として、毎年度、評価・見直しを行うものとします。



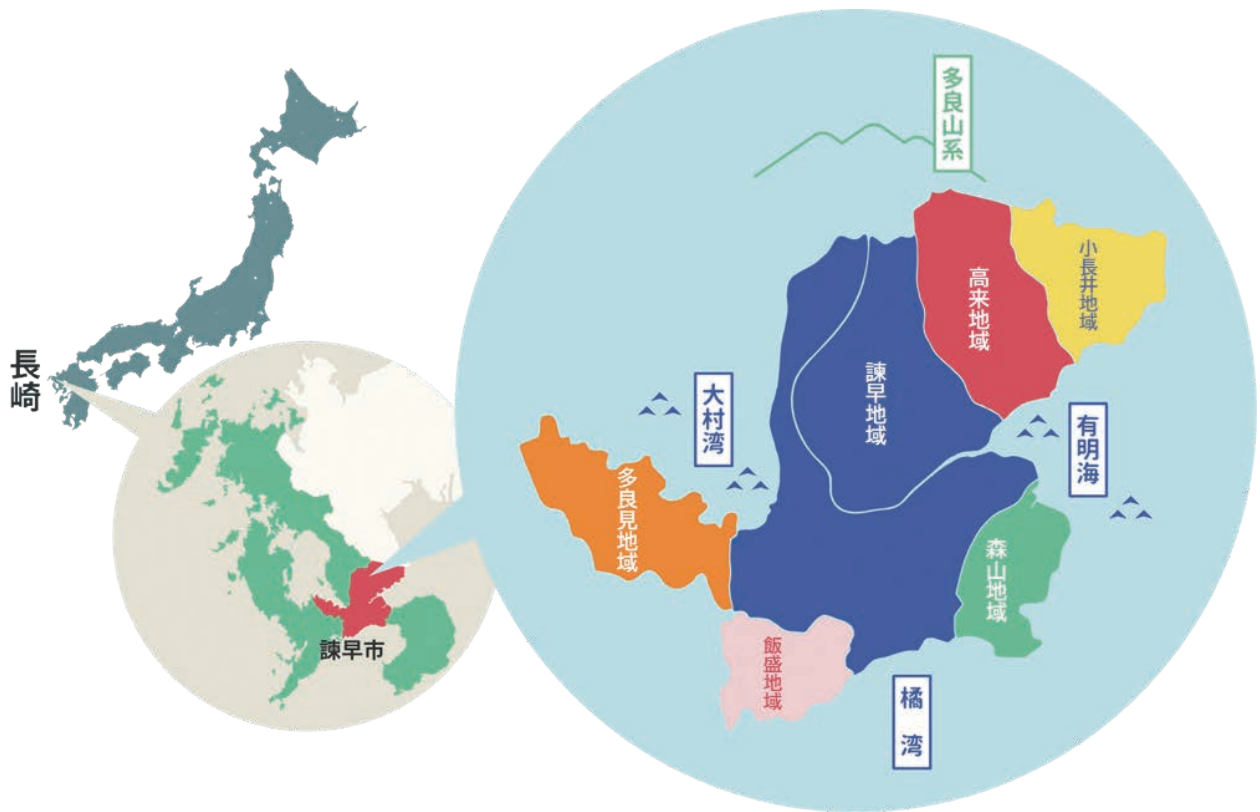
第2章 諫早市の課題と未来への展望

1 諫早市の現状

(1) 諫早市の概要

本市は長崎県の南部中央に位置し、長崎半島・島原半島・西彼杵半島の接点にあたる交通の要衝として、古くから重要な役割を果たしてきました。東は有明海、西は大村湾、南は橘湾に囲まれ、北には多良山系が広がる豊かな自然環境に恵まれています。市の中心部を流れる本明川は市街地を貫き、有明海へと注ぎ、下流に広がる諫早平野は、県内最大の穀倉地帯として知られています。

気候は年間を通して温暖であり、豊かな自然環境と優れた交通アクセスが調和した、暮らしやすい都市環境を形成しています。また、産業用地や住宅地としての魅力も高く、多様な都市機能の発展が期待されています。



市の面積

● 341.79 km²



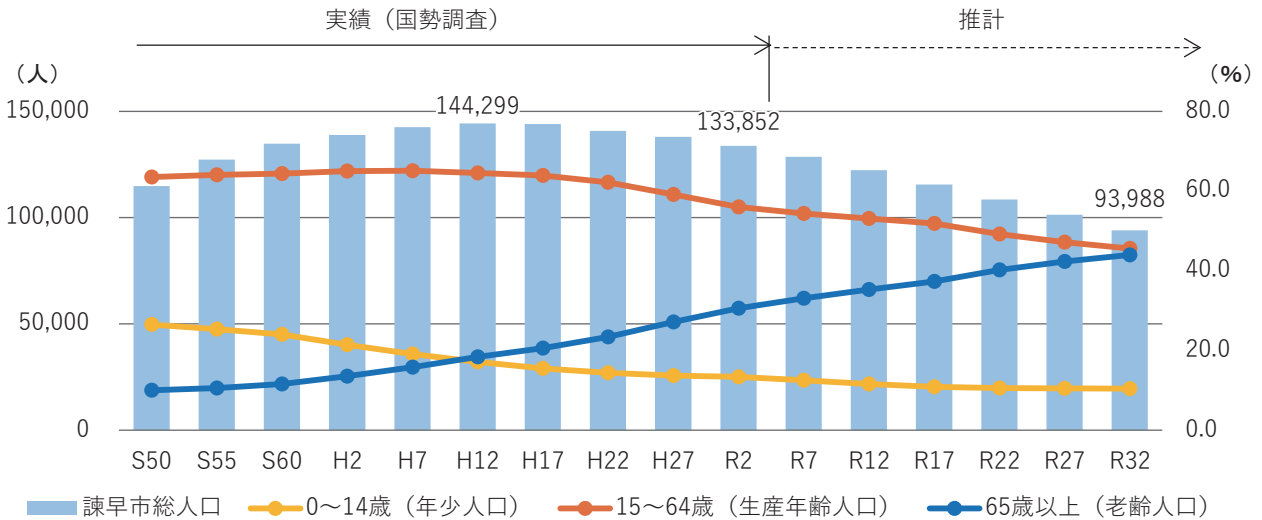
人口と世帯数

- 総人口 130,152人
- 人口(男) 62,435人
- 人口(女) 67,717人
- 世帯数 55,691世帯

※総務省が公表する人口速報集計結果と異なる場合があります。

(2)人口推移・将来予測

- 本市の人口は、平成12年をピークに減少傾向にあります。
- 国立社会保障・人口問題研究所の試算では、令和32年の総人口は93,988人、高齢化率は44%と、およそ2.3人に1人が高齢者になることが予測されています。

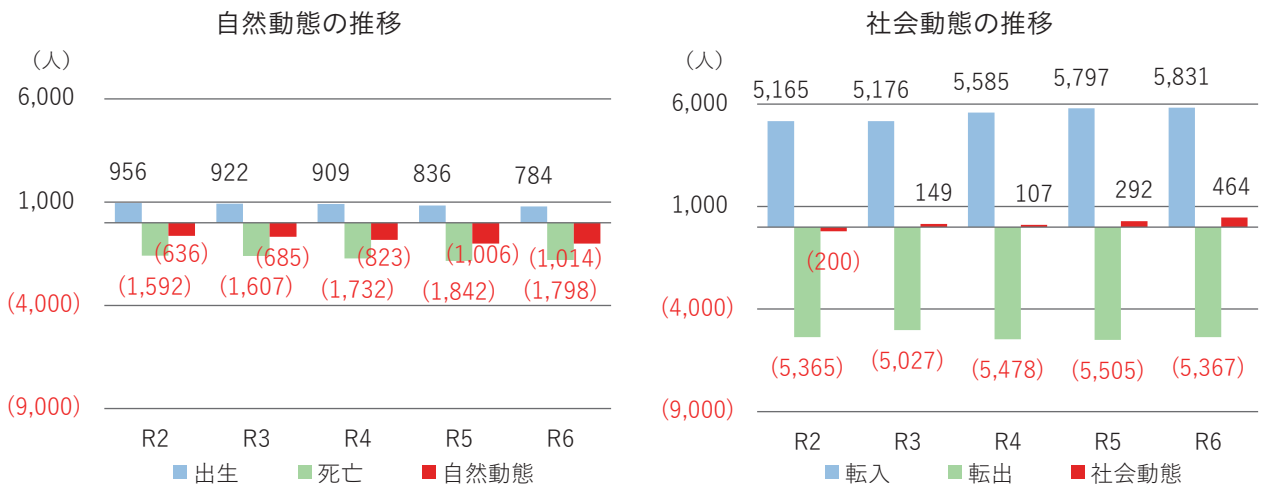


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計値 令和5年12月22日公表

(3)自然動態・社会動態

①自然動態・社会動態の推移

- 自然動態は、死亡が出生を上回り、毎年1,000人前後の減少となっています。
- 社会動態は、転入が転出を上回り、令和3年以降、4年連続して増加となっています。
- 社会動態は増加していますが、自然動態による減少が大きいことから、全体では人口減少が続いています。



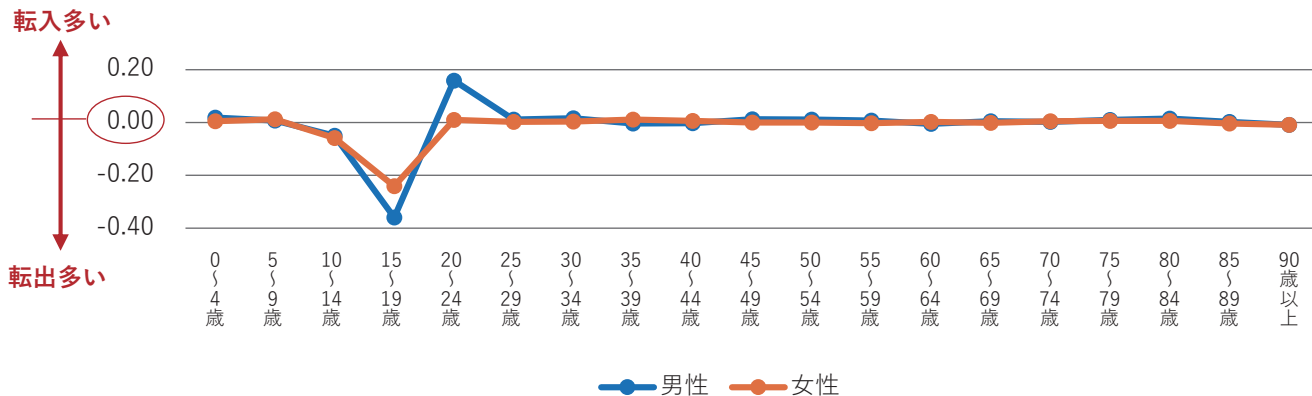
出典：長崎県異動人口調査（令和2年～令和6年調査）

※自然動態：出生・死亡に伴う人口の動き
社会動態：転入・転出に伴う人口の動き

②年齢別で見た社会動態の状況

- 5歳階級での動態では、20代から30代にかけて人口が流出していることがわかります。
- 男性は、20代後半でリターンなどにより転入超過となっていますが、女性は、転入超過となる年代がなく、特に流出が進んでいるといえます。

5歳階級別純移動率



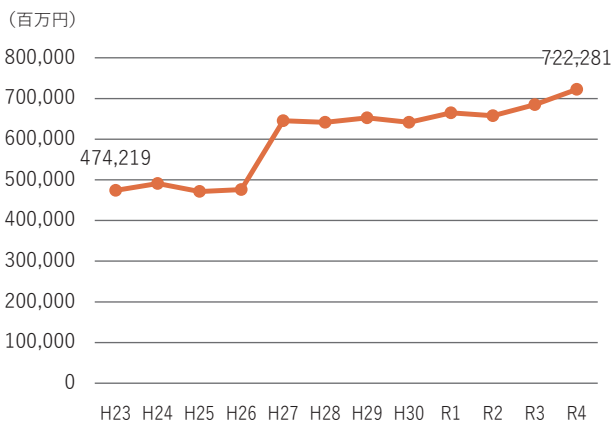
出典：国立社会保障・人口問題研究所

※純移動率とは5歳階級毎の人口の5年後の比率をいう。流入（転入）と流出（転出）の差を人口で割ったもの。人口100人で転出超過が50人（マイナス）の場合、純移動率は0.5となる。

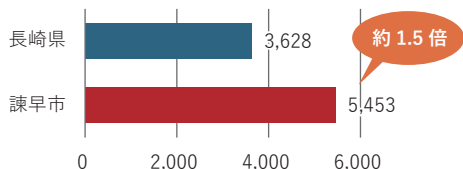
(4) 経済状況

- 本市の総生産は好調な企業誘致などを背景に順調に増加しています。一人あたりの経済規模は長崎県平均の1.5倍と高い水準にあり「稼ぐ力」が強いといえます。
- 分野別でみると企業誘致などの影響により「製造業」が46.7%と半数近くを占めており、依存度が大きくなっています。

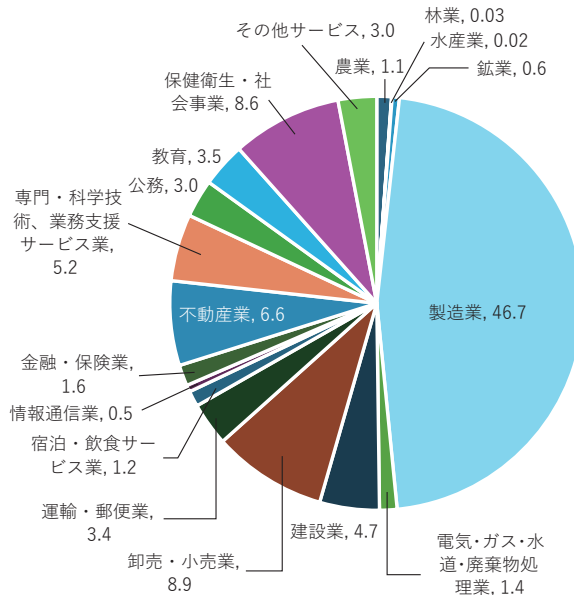
総生産の推移



1人あたり市町別経済規模(総生産/人口)(千円)



(令和4年構成比)



出典：令和4年度長崎縣市町村民経済計算

2 まちづくりの課題 ～市民や事業者の声から～

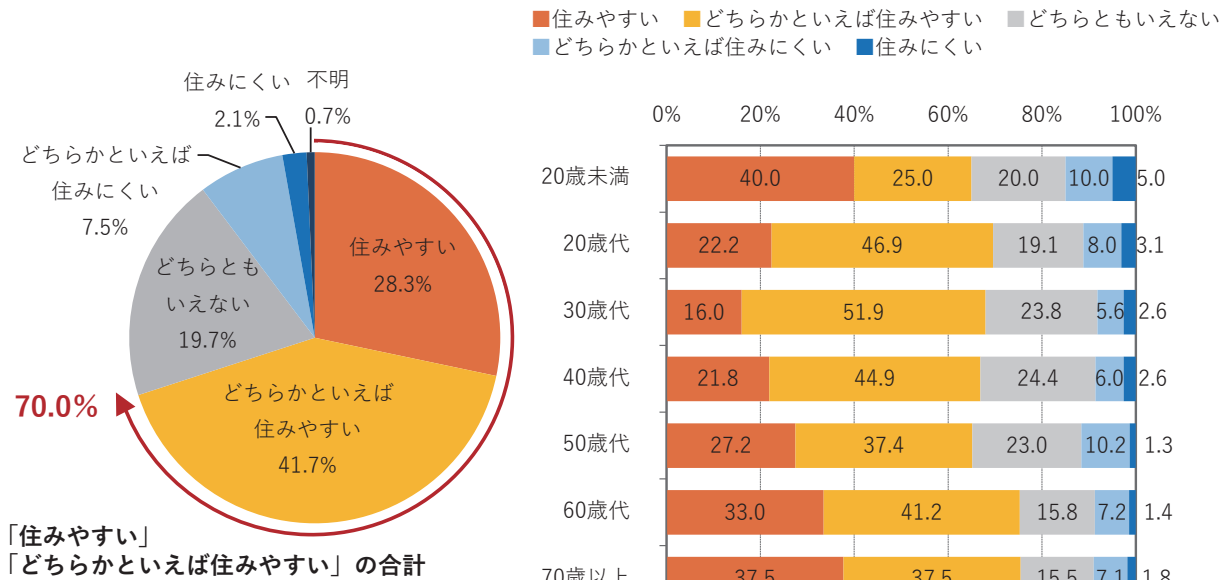
(1) 市民アンケート調査

【調査概要】 諫早市内在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人を対象に令和 6 年 9 月～ 10 月に実施。有効回答数 1,285 票、回収率 42.8%

- ・本市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」が 41.7%と最も多く、「住みやすい(28.3%)」を含めると 70.0%が「住みやすい」と回答しています。
- ・定住意向については、「これからも住み続けると思う」が 73.6%を占め、回答者の約 7 割が本市に定住する意向を示しています。
- ・一方、「市外の方に対する観光や移住をどの程度お勧めしたいか(推奨度)」では、観光の推奨度が 20.4%、移住の推奨度が 32.7%とやや低い傾向にあります。

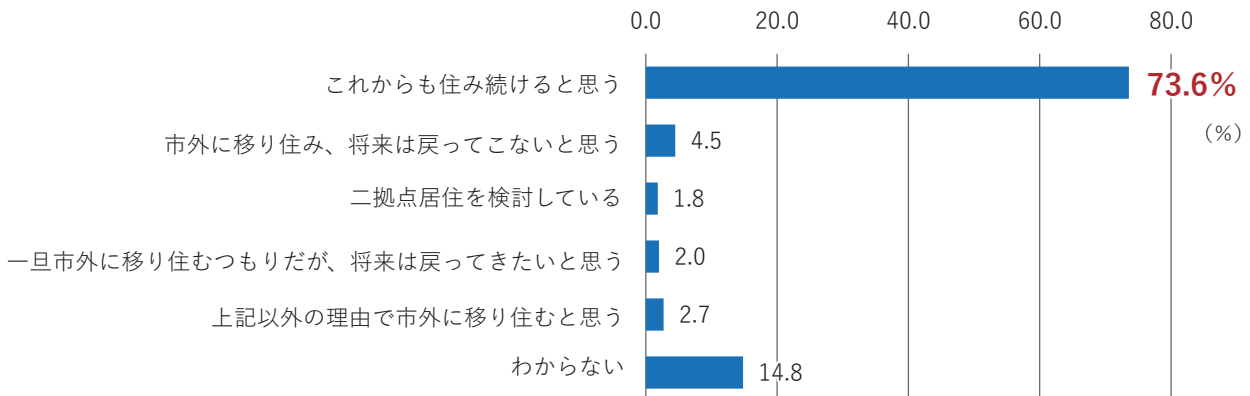
① 住みやすさ

Q：今の諫早市は住みやすいところだと思いますか？



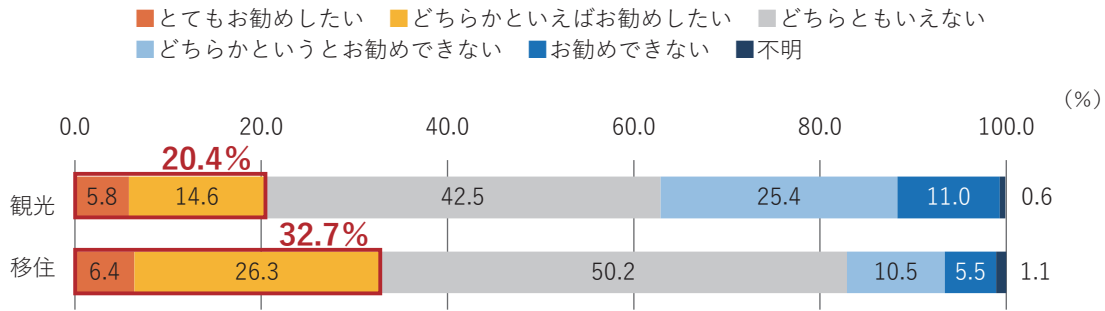
② 定住意向

Q：今後も諫早市に住み続けたいと思いますか？



③観光・移住推奨度

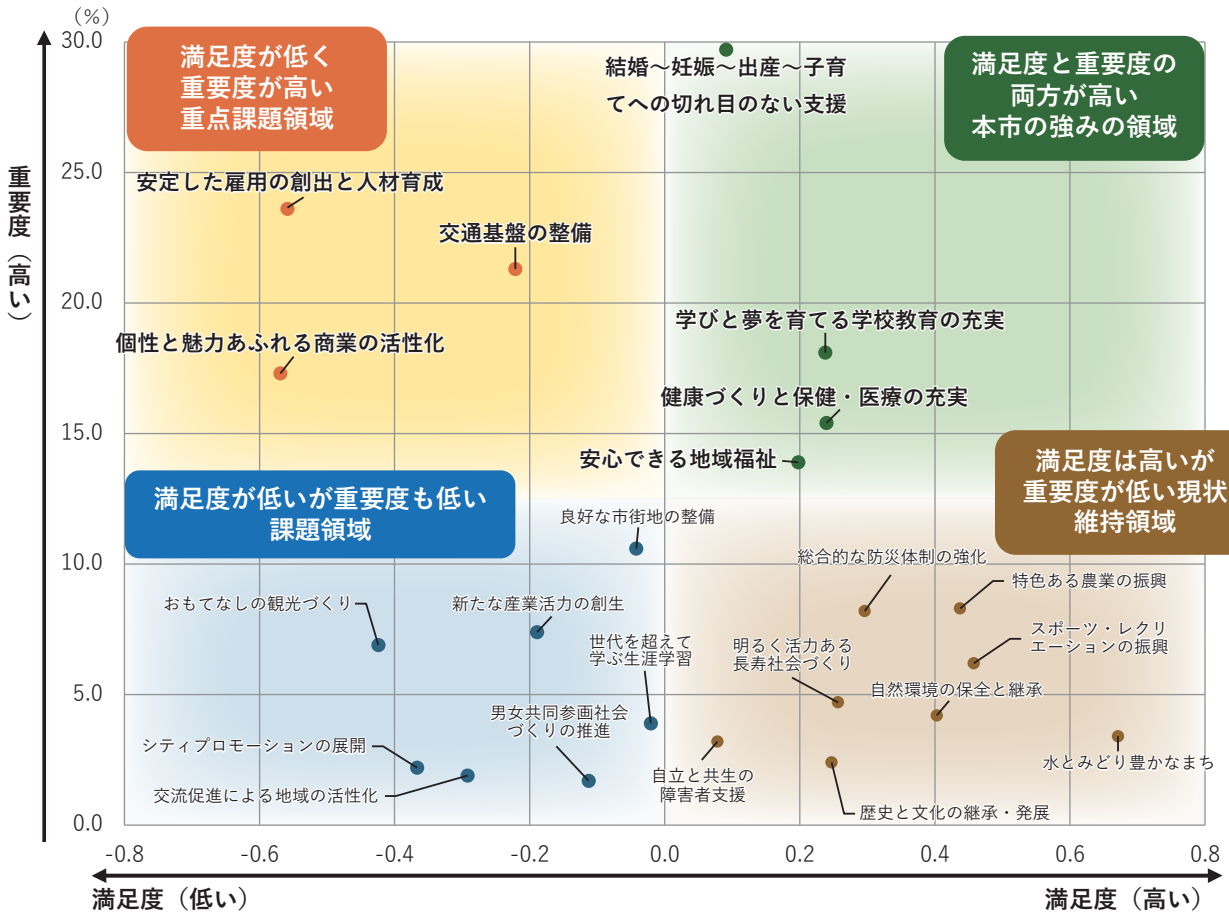
Q：市外の方に諫早市への観光・移住をどの程度お勧めしたいですか？



④満足度・重要度

- ・満足度に重要度を掛け合わせると、満足度と重要度がともに高い「子育て」、「学校教育」、「健康づくりと保健・医療」、「地域福祉」などは、本市の強みとなる分野といえます。
- ・満足度が低く、重要度が高い「雇用の創出と人材育成」、「交通基盤の整備」、「商業の活性化」などは、本市の重点課題分野といえます。

市民アンケート調査結果：満足度×重要度に基づく分布



※満足度指数：{大変満足×2+やや満足×1+わからない・不明×0+やや不満×(-1)+大変不満×(-2)} / 回答数
 ※分布図の施策については、主なものを記載しています。

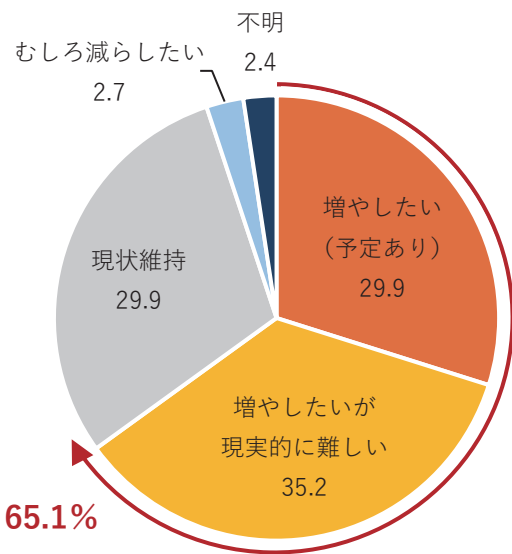
(2) 事業所アンケート調査

【調査概要】 市内事業所 660 者を対象に令和 6 年 10 月に実施
有効回答数 335 票、回収率 50.8%

- ・ 今後雇用を「増やしたいが現実的に難しい」が最も多く 35.2%となり、「増やしたい(予定あり)」を含めると 65.1%が雇用を増やしたいと回答しています。
- ・ 後継者の有無については、「後継者が決定している」との回答は 34.9%に留まり、「後継者が決まっていない(27.8%)」、「自分の代で廃業予定(8.4%)」と約 3 割が後継者不足もしくは廃業が決まっていると回答しています。

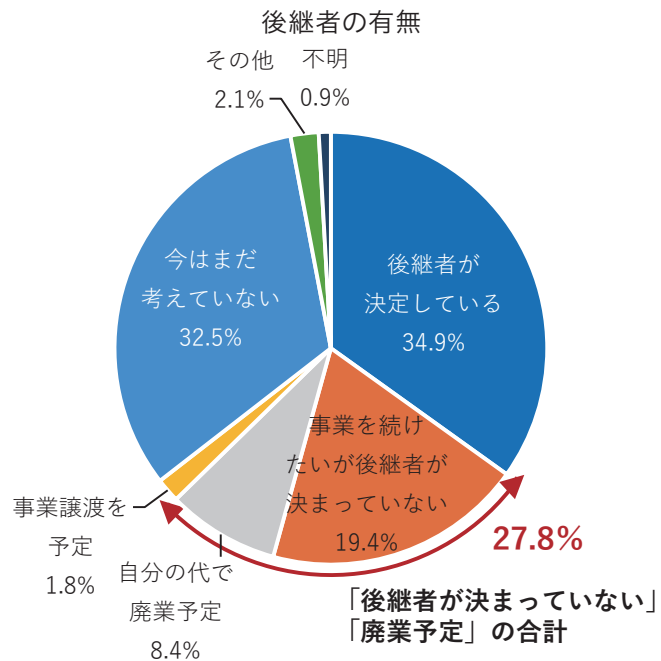
① 労働力・後継者不足

Q：今後雇用を増やしたいと思いますか？



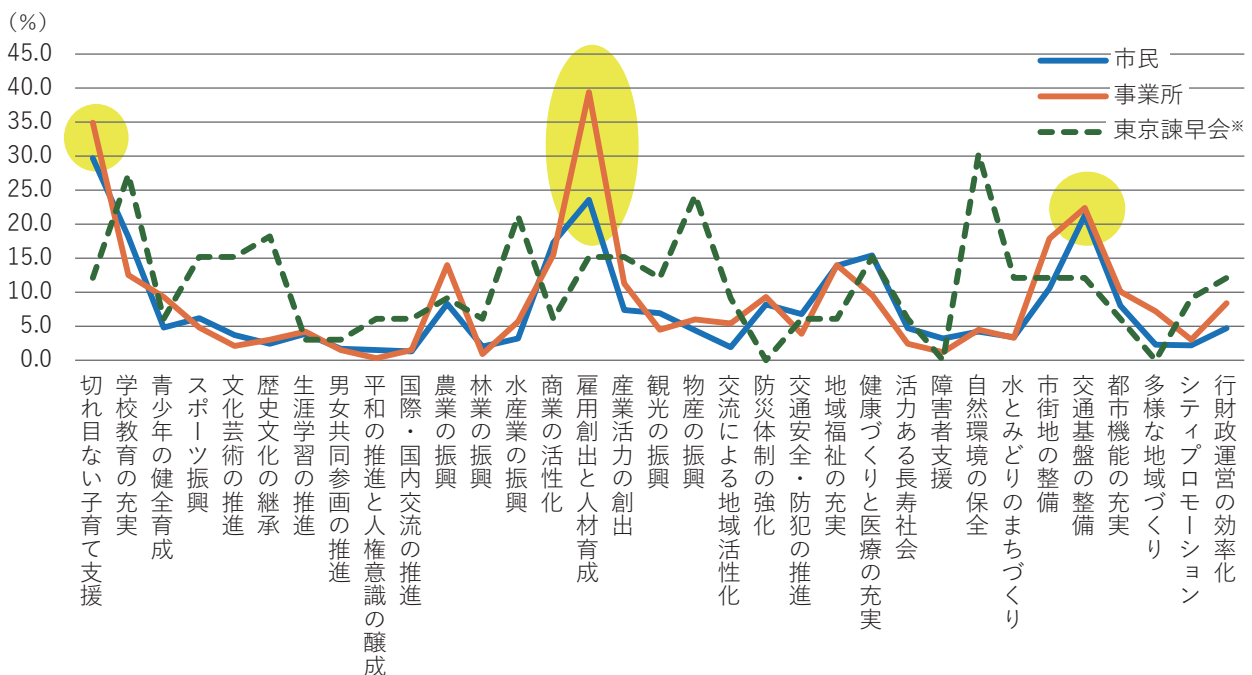
65.1%

「増やしたい (予定あり)」「増やしたいが現実的に難しい」の合計



「後継者が決まっていない」「廃業予定」の合計

② 分野別まちづくりの重要度比較



※東京諫早会：東京都および近郊に在住・在勤する諫早市出身者やゆかりのある方々で構成される団体

(3) 市民ワークショップ

総合計画に市民の皆さんのまちづくりに対する考えやアイデアを反映させるため、高校生・市民ワークショップを開催しました。ワークショップでは、本市の魅力や強み、課題などを話し合いながら、その資源を活かしたまちづくりや、将来のまちのキャッチコピーなど、多くのアイデアが提案されました。

高校生ワークショップ

(開催日) 令和6年10月26日 (参加者) 市内8高校から32名



(主な意見)

- ・ 諫早は滝や川、山など自然が豊かで、きれいな景色や映える場所が多い! もっとPRすべき!
- ・ 諫早の高校は部活動が強い学校が多く、スポーツ施設も充実している。大会や合同の行事で学校を超えて交流をしたい!
- ・ 農業や漁業が盛んで、野菜や魚などが豊富。地元の飲食店やイベントで楽しめるまちにしたい!

市民ワークショップ

(開催日) 令和6年11月16日 (参加者) 市内在住14名



(主な意見)

- ・ 野菜や米、海産物などが豊富だという地域の強みを活かし、後継者不足や耕作放棄地の課題にも取り組む必要がある!
- ・ 学生の活力や起業意欲の高さは大きな魅力。起業の仕方を学べる場や、空き店舗の活用、学習や交流の場をさらに広げていきたい!
- ・ 諫早の魅力を十分に発信できていないので、SNSや動画など多様な手段で効果的に伝えたい!

まちづくりの課題まとめ

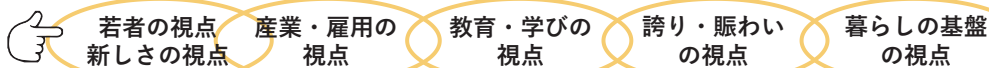
基礎調査結果や総合計画審議会での意見を踏まえ、まちづくりの課題を「若者・新しさ」、「産業・雇用」、「教育・学び」、「誇り・賑わい」、「暮らし」の5つの視点で整理しました。



諫早市のまちの良いところ（伸ばすべきところ）・課題（改善すべきところ）は何か？

諫早市ではどんなまちづくりが必要？（5つの視点から分析）

分析の視点



①若者の視点 ・新しさの視点

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちづくりが必要です。

②産業・雇用の視点

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じる事ができる雇用を創出する必要があります。

③教育・学びの視点

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創ることが必要です。

④誇り・賑わいの視点

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創ることが必要です。

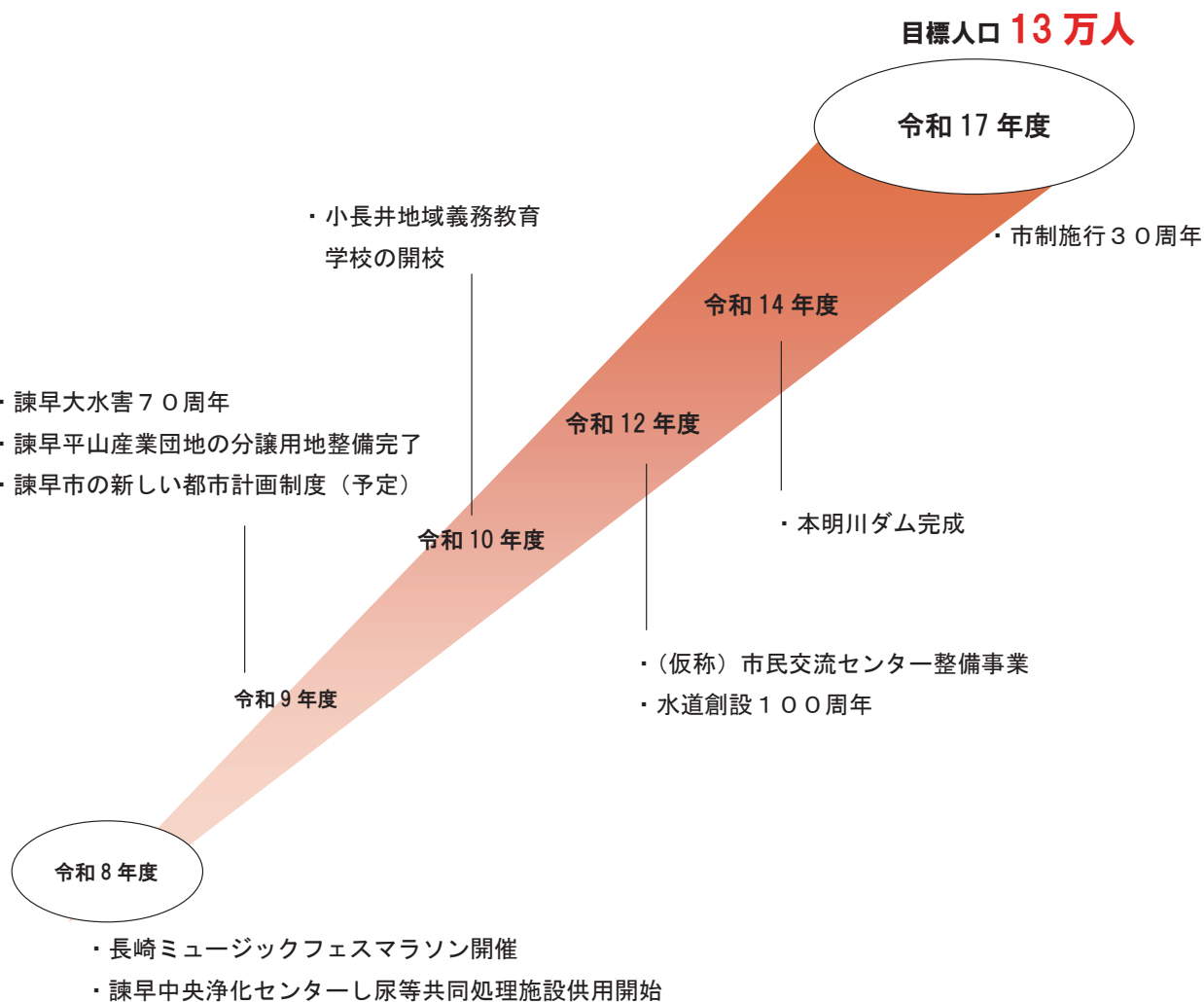
⑤暮らしの基盤の視点

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創ることが必要です。

3 今後10年の主な出来事

計画期間の最終年である令和17年度は市制施行30年の節目にあたる年です。

令和8年度からの10年間では、新たな産業団地の整備や都市計画制度の運用開始、(仮称)市民交流センターの開設など、本市の新たな魅力と活力を生み出す様々なまちづくり事業が展開されます。



その他、今後想定される主な出来事

- ・島原道路(森山西IC - (仮)尾崎IC 約1.5km)の供用開始
- ・国道34号大村諫早拡幅(約4.4km)の供用開始
- ・国道207号東長田拡幅(約1.9km)の供用開始

第3章 まちづくりの基本構想

1 将来都市像

来てよし、住んでよし、育ててよし！

輝く諫早 夢かなうまち

「来てよし、住んでよし、育ててよし！ 輝く諫早 夢かなうまち」は、本市の多様な魅力(強み)と、そこに関わるすべての人の未来への希望を表現したものです。この将来都市像には、本市に対する愛着と誇りを育んでいただきたいとの願いが込められています。

本市の財産である豊かな自然と都市機能が調和した優れた生活環境、さらには、子育てや教育の充実といった「暮らしのバランスの良さ」は大きな強みであり、「来てよし」「住んでよし」「育ててよし」のすべてを体現する本市のまちの姿を象徴しています。

また、市民のまちへの愛着や誇りを育むとともに、その魅力を市内外に広く発信し、地域の活力と魅力向上につなげていく姿勢を表すものでもあります。

そして、「輝く諫早 夢かなうまち」という言葉には、市民一人ひとりが未来に希望を抱き、自らの人生を実現していけるまちであり続けたいという願いが込められています。

「来てよし、住んでよし、育ててよし！ 輝く諫早 夢かなうまち」
みんなで一緒に諫早市のまちづくりをはじめましょう。



基本目標 1

チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。

基本目標 3

人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

基本目標 4

誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

基本目標 5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

3 目標人口

諫早市は令和17年に人口約13万人を目指します

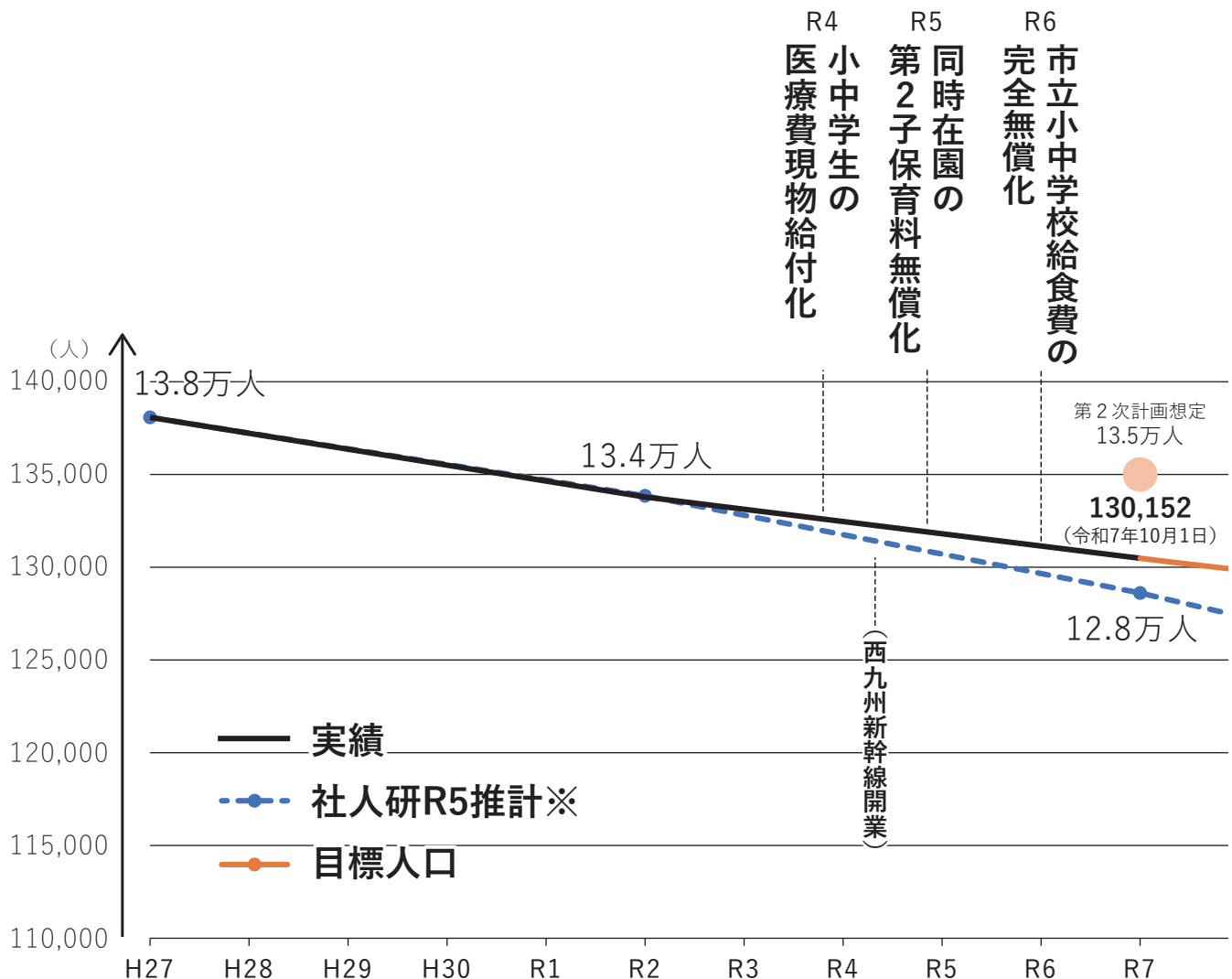
本市の人口は、平成12年をピークとして減少傾向にあり、令和7年国勢調査では、130,152人※となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、本市の人口は、全国の多くの市町村と同様に今後も減少が継続と予想されています。

しかしながら、本市においては、令和4年度以降、子育て支援策の充実や相次ぐ企業誘致の進展のほか、住環境の整備に向けた都市計画制度の見直しも予定しており、まちづくりにおける大きな転換期を迎えています。

こうした基盤を活かし、今後さらに定住促進策やUIターン施策を強化することで社会動態の改善を図ります。あわせて、子どもを産み育てやすい環境づくりを進め、出生数の増加につなげるとともに、介護予防や健康づくりの推進による健康寿命の延伸を図ることで自然動態の改善に努めるなど、令和17年には人口約13万人の維持を目指します。

※総務省が公表する人口速報集計結果と異なる場合があります。

目標人口達成のイメージ



※国立社会保障・人口問題研究所推計値

目標人口の達成に向けた取組の方向性

		市内在住者	市外在住者	外国籍の方（市内外）
社会動態対策	転出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ●若者に求められる仕事づくりや子育て環境などの充実 ●市内企業の紹介とマッチングの機会の創出 ●県内他市町への転出抑制に向けた土地利用・住宅施策など 		<ul style="list-style-type: none"> ●在住外国人（留学・技能実習等）の定住促進（受入体制の整備）
	転入抑制		<ul style="list-style-type: none"> ●誘致企業等と連携した市外からの移住・定住促進 ●関係人口（ふるさと住民）の増加による将来の移住促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●誘致企業・地場企業と連携した外国人人材の受入強化
自然動態対策	出生数増	<ul style="list-style-type: none"> ●結婚支援、子育て環境の充実、医療体制の充実、教育の質向上などによる出生数の増加 		
	死亡数減	<ul style="list-style-type: none"> ●介護予防や認知症対策などによる健康寿命の延伸 		

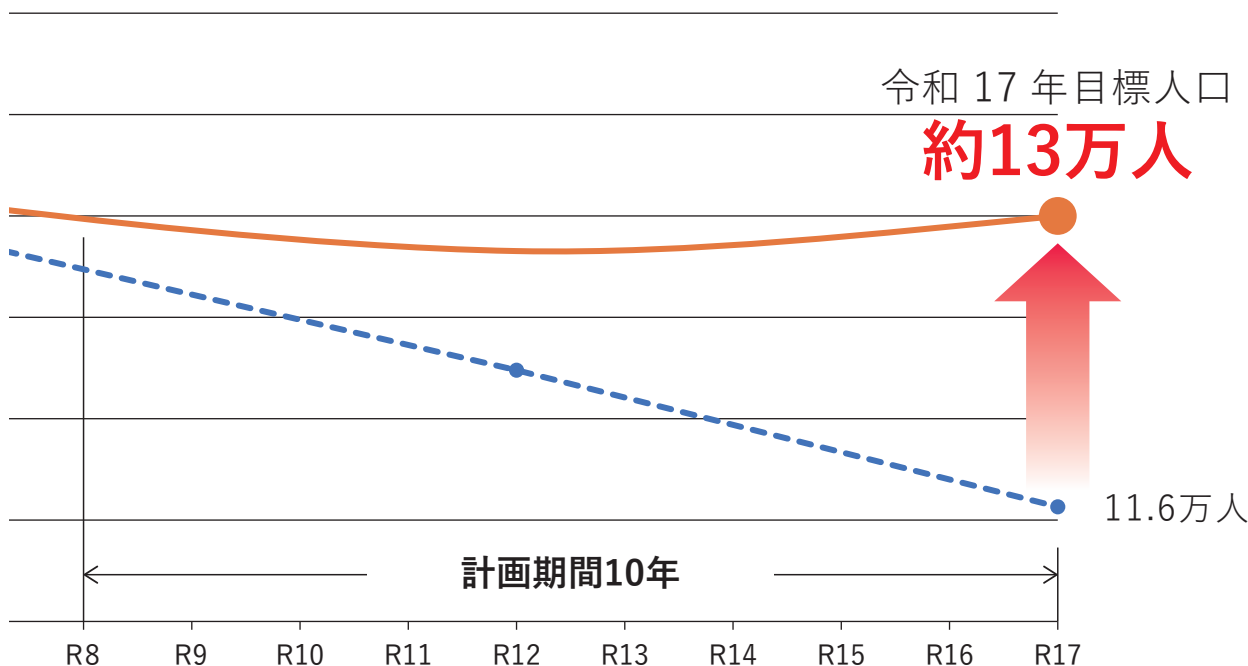
計画期間中の主なまちづくり事業

京セラ(株)生産拠点開設

島原道路沿線における大型商業施設の立地※民間事業

諫早平山産業団地分譲用地完成

「新しい都市計画」の実現による土地利用政策の転換



第4章 まちづくり計画

1 施策体系

将来都市像

輝く諫早 夢かなうまち

来てよし、住んでよし、育ててよし！

基本目標 1 チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

基本目標 2 産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。

基本目標 3 人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

基本目標 4 誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

基本目標 5 持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

まちづくり計画の推進方策(P69)

【分野別施策】

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援 (P21～22)
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり (P23～24)
1-3	新たな活力の創出と人材育成 (P25)
1-4	市民協働の諫早プロモーション (P26)
1-5	多様な地域づくりの推進 (P27)
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進 (P29～30)

2-1	特色ある農業の振興 (P33)
2-2	循環型林業の推進 (P34)
2-3	3つの海が育てる水産業の振興 (P35)
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化 (P36)
2-5	安定した雇用の創出 (P37)
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲) (P38)

3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実 (P41)
3-2	地域で支える青少年の健全育成 (P42)
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進 (P43)
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進 (P44)
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成 (P45)

4-1	歴史と文化が息づくまちづくり (P47～48)
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興 (P49～50)
4-3	おもてなしの心による観光振興 (P51)
4-4	ふるさとの物産づくり (P52)
4-5	水とみどり豊かな環境づくり (P53～54)
4-6	未来につながる環境の保全 (P55)
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲) (P56)

5-1	安心できる地域福祉の推進 (P59)
5-2	健康づくりと保健・医療の充実 (P60)
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現 (P61～62)
5-4	自立と共生の障害者支援 (P63)
5-5	総合的な防災体制の強化 (P64)
5-6	交通安全・防犯意識の推進 (P65)
5-7	安全・安心な暮らしを支える基盤づくり (P66)
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備 (P67～68)

【重点プロジェクト】

若者&
ファミリー定着
プロジェクト

人材確保・育成
プロジェクト

学びのまち
プロジェクト

情報発信
プロジェクト

便利な移動
実現
プロジェクト

(分野横断)DX推進プロジェクト

2 重点プロジェクト

本市のまちづくりの基盤を将来にわたり強化していくため、各基本目標において、特に重点的な取組を「重点プロジェクト」として位置付け、推進します。

基本目標 1

チャレンジできるまち

若者&ファミリー 定着プロジェクト

若者やファミリー層に選ばれるまちを目指し、仕事や子育て、住まいなどの暮らしに関わる様々な分野の充実を図ります。



基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

人材確保・育成 プロジェクト

多くの事業所が抱える人材確保・育成と事業承継の課題に対し、分野を超えた取組を行います。



基本目標 3

人を育む学びのまち

学びのまちプロジェクト

地域に根付いた大学、魅力的な図書館がある強みを活かし、生涯学習からリカレント教育※まで、全ての市民のニーズに応える学びの場をつくります。

※リカレント教育：社会人の学び直し



基本目標 4

誇りと賑わいのあるまち

情報発信プロジェクト

本市の魅力的な資源を内外に向け発信し、観光・物産の振興などにつなげ、地域活性化や交流人口の拡大を図ります。

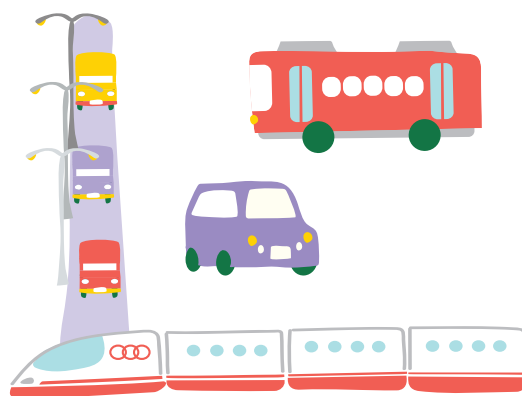


基本目標 5

持続可能なまち

便利な移動実現プロジェクト

幹線道路の渋滞対策をはじめ、公共交通の充実などにより、誰もが便利に移動できるまちをつくります。



分野横断

DX推進プロジェクト

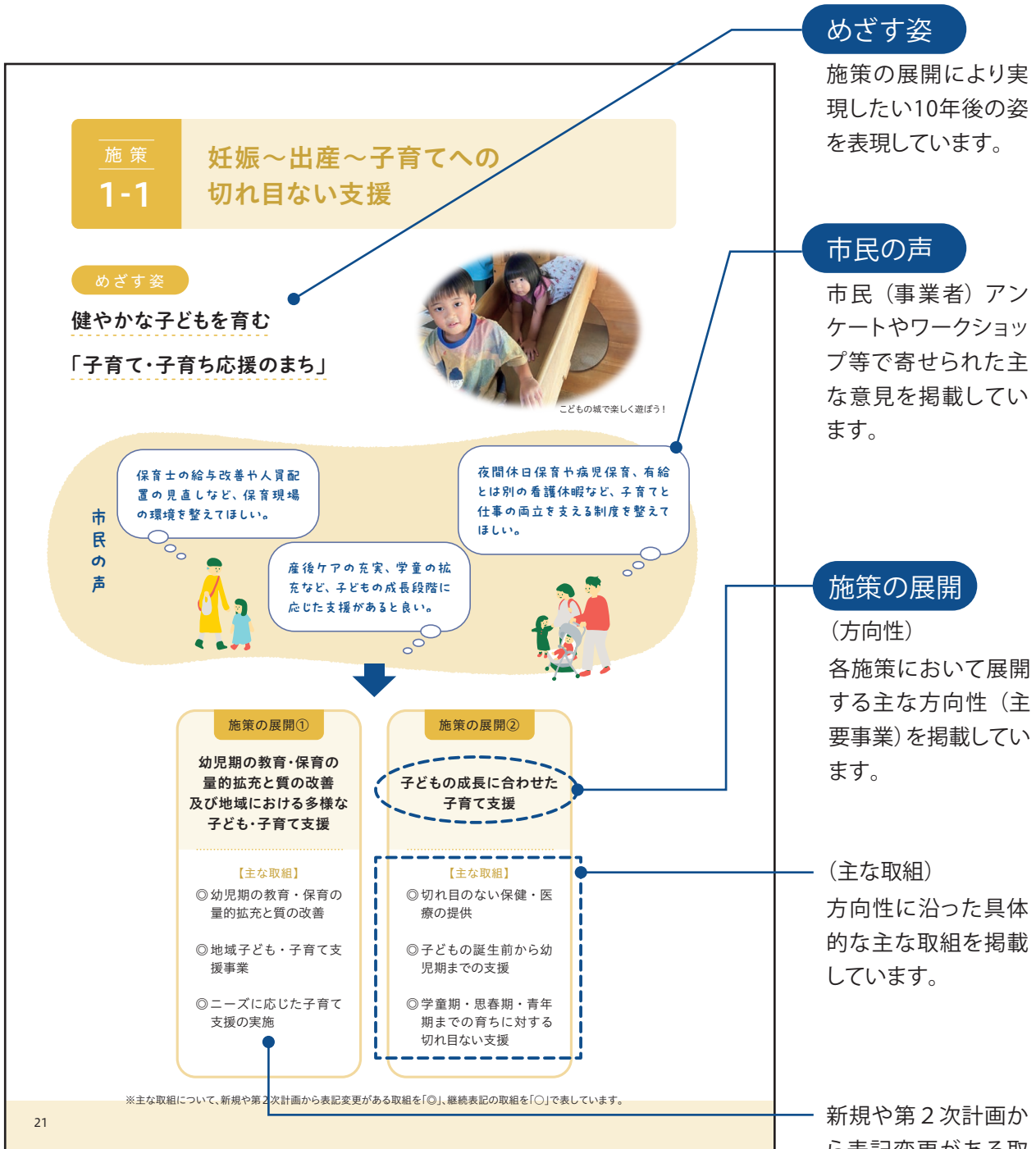
デジタル技術やデータを活用し、産業や暮らしなどの様々な分野の効率化と施策効果の最大化を目指します。



3 分野別まちづくり計画

分野別まちづくり計画の見方

各分野のまちづくりを可能な限りコンパクトで分かりやすく表現するため、各施策を1ページから2ページでまとめています。



基本目標1

チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、
今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。



妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

めざす姿

健やかな子どもを育む

「子育て・子育て支援のまち」



こどもの城で楽しく遊ぼう！

市民の声

保育士の給与改善や人員配置の見直しなど、保育現場の環境を整えてほしい。

夜間休日保育や病児保育、有給とは別の看護休暇など、子育てと仕事の両立を支える制度を整えてほしい。

産後ケアの充実、学童の拡充など、子どもの成長段階に応じた支援があると良い。



施策の展開①

幼児期の教育・保育の量的拡充と質の改善及び地域における多様な子ども・子育て支援

【主な取組】

- ◎ 幼児期の教育・保育の量的拡充と質の改善
- ◎ 地域子ども・子育て支援事業
- ◎ ニーズに応じた子育て支援の実施

施策の展開②

子どもの成長に合わせた子育て支援

【主な取組】

- ◎ 切れ目のない保健・医療の提供
- ◎ 子どもの誕生前から幼児期までの支援
- ◎ 学童期・思春期・青年期までの育ちに対する切れ目のない支援

※主な取組について、新規や第2次計画から表記変更がある取組を「◎」、継続表記の取組を「○」で表しています。



子育て応援施設(上段:すくすく広場、下段左:太陽保育所、下段中右:こどもの城)

LINEやCMなどを活用して、子育て支援制度の情報を分かりやすく届けてほしい。

妊娠出産に関する経済的な支援を充実させてほしい。



子どもの遊び場や子ども食堂など、子どもの居場所を増やしてほしい。

子育てに困った時に相談したり、情報を得ることができる場所を作してほしい。



施策の展開③

子育て家庭の親に対する支援

【主な取組】

- ◎ 子育て情報の提供及び相談支援
- ◎ 親子で取り組む子育て・子育て支援
- ◎ 子育て家庭への経済的な支援
- ◎ 仕事と育児の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)

施策の展開④

地域社会で取り組む子育て活動の充実

【主な取組】

- ◎ 地域のボランティアなどによる支援
- ◎ 地域子ども教室との連携

施策の展開⑤

支援が必要な子どもと家庭のための支援

【主な取組】

- ◎ 障害のある子ども等への支援
- ◎ 子どもの権利を擁護するための支援
- ◎ 関係機関との連携による支援

多様な交流と連携による まちづくり

めざす姿

市民主体の国際交流や

姉妹・友好都市との交流を通じて、

多文化共生と地域活性化が進んでいるまち



国際交流フェスタ

市民の
声

外国人との交流や多文化理解を深める機会をもっと増やしてほしい。

外国人の方も安心して地域に関われるよう、支援体制を整えてほしい。



施策の展開①

多文化共生
・国際交流の推進

【主な取組】

- ◎多文化共生の地域づくり
- ◎市民主体の国際化推進



日本語教室

施策の展開②

外国人材の
受入促進

【主な取組】

- ◎多様な背景を持つ人々が共に働き、暮らせる環境整備



高校生ワークショップ



三市交流展(歴史・文化交流)

異なる価値観に触れられる場を通じて、視野を広げられるようにしてほしい。



市内外の高校生が交流できる場をつくってほしい。



施策の展開③

広域・官民連携の推進

【主な取組】

- ◎ 広域行政の推進
- ◎ 大学や高校、民間企業等との連携



民間企業等との包括連携*

施策の展開④

国内交流の推進

【主な取組】

- ◎ 国内友好交流都市との地域間交流の推進



出雲市・津山市との交流

*包括連携：特定の事業に限定しない包括的な協力

新たな活力の創出と人材育成

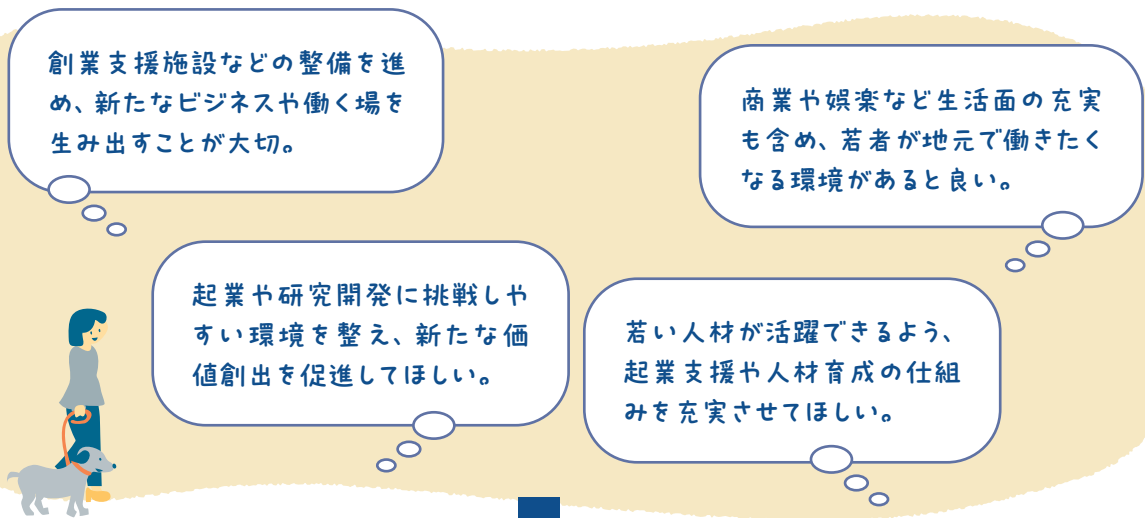
めざす姿

地域産業を担う人材が育ち、
地元での就職や起業が活発に
行われているまち



いさはやコンピュータ・カレッジの授業風景

市民の声



施策の展開①

新規ビジネス支援

【主な取組】

- ◎創業支援ワンストップ窓口の開設
- ◎市制度融資の充実

施策の展開②

地域産業を支える人材の確保・育成

【主な取組】

- ◎職業訓練校の支援
- ◎人材育成機関の支援（IT人材など）
- ◎ハローワークとの連携による人材確保

施策の展開③

若者の地元就職の促進

【主な取組】

- ◎企業と高校との情報交換会の開催
- ◎若者向け県内企業説明会の開催

施策

1-4

市民協働の諫早プロモーション

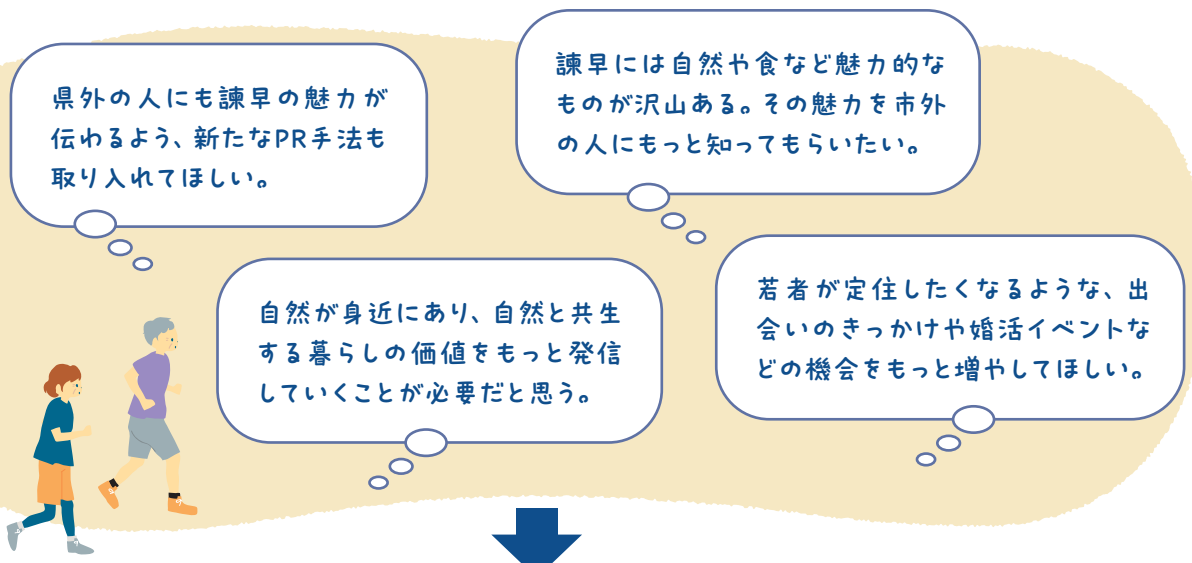
めざす姿

「住み続けたい」、「住んでみたい」と感じてもらえる、
 誰にとっても「住みよい」、「選ばれる」まちの実現のため、
 市民が地元に対して誇りや愛着を持ち、
 行政と共に市の魅力発信を行うまち



シティプロモーション戦略

市民の声



施策の展開①

シティプロモーションの推進

【主な取組】

- シティプロモーション※戦略に基づく施策の推進
- ◎ふるさと納税制度を活用した地域資源のPR



ふるさと納税による地域PR

施策の展開②

広報広聴の充実

【主な取組】

- 広報諫早の充実
- ◎ホームページ、SNS等を活用した積極的な情報発信
- ◎市民の声を大切にした広聴活動の推進
- ◎効果的な広報のための体制構築

施策の展開③

選ばれるまちづくり

【主な取組】

- ◎出会いのきっかけづくり
- ◎きめ細かな移住相談
- ◎空き家バンクの利用促進
- ◎地域おこし協力隊と連携した情報発信
- ◎新生活の実現を支援

※シティプロモーション：地域の魅力を内外へ広く伝え、その愛着や認知度を高めることで地域活性化を図る活動

多様な地域づくりの推進

めざす姿

良好な地域社会の維持のため
自治会活動を支援することにより、
地域のつながりを守るとともに、
市民協働による特色のあるまち



地域づくり協働事業

市民の声

地域行事やボランティア活動などを通じた交流の場を広げてほしい。

地域の祭りや町おこしを盛り上げ、地域ごとの特色が発揮できる拠点づくりを進めてほしい。

閉鎖的になりがちな地域や、つながりが希薄な地区にも目を向け、地域全体で支え合える仕組みが必要だと思う。

いこいの場や交流拠点を整備し、市民の活動を支える環境の充実が大切だと思う。



施策の展開①

つながり守る地域づくり

【主な取組】

- ◎ 自治活動の支援
- ◎ 地区集会施設整備の支援
- ◎ 地域自治意識の醸成

施策の展開②

特色あるまちづくりの推進

【主な取組】

- ◎ 地域づくり事業の支援
- ◎ 地域活動拠点の充実



たらみ海辺の学校



山茶花高原ロードレース



アエルコドモフェス

魅力的な都市(まち)づくりの推進

めざす姿

すべての市民が
住みたい場所で、安全・安心・
快適に暮らせる持続可能なまち



諫早駅周辺の風景

市民の声

地域の特性に応じた土地利用誘導が必要だと思う。

人の流れを呼び込む商業施設や飲食店の誘致、夜も賑わう魅力的なエリアづくりを進めてほしい。

駅前やアーケード周辺の再開発を進めてほしい。



施策の展開①

未来へ向けたまちづくりの推進

【主な取組】

- ◎ 諫早市の新しい都市計画の実現
- ◎ 都市計画基本方針の改訂
- ◎ 立地適正化計画の策定
- ◎ 特定用途制限地域の決定
- ◎ 開発や建築に関するルールづくり
- ◎ 都市景観づくりの推進
- ◎ 都市計画・土地利用における都市DX※の推進

施策の展開②

地域の特性に応じた適正な土地利用誘導と定住促進

【主な取組】

- ◎ 新たな土地利用政策による適正な土地利用の誘導と定住促進
- ◎ 新たな制度による土地活用と環境保全のルールづくり
- ◎ 身近な生活利便施設の充実と良質な住宅地の供給の促進
- ◎ インターチェンジ周辺における産業立地の促進
- ◎ 幹線道路沿いにおける土地利用の促進

※都市DX：都市全体の空間情報の3次元デジタル化やオープンデータ化を図り、まちづくりや防災・減災、人手不足時代における生産性の向上などへの活用を推進する取組



(仮称)市民交流センター(イメージ)



島原道路長野インターチェンジ周辺

駅周辺の利便性や賑わいを向上させ、活気ある拠点として再生する取組が必要だと思う。



施策の展開③

まちなか再生の推進

【主な取組】

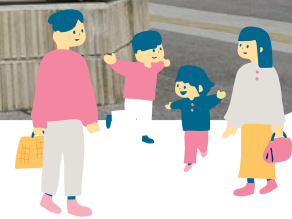
- ◎都市再生整備計画の推進
- ◎都市施設の整備促進
- ◎都市空間の創出と地域コミュニティの形成
- ◎民間活力を活かしたまちづくりの推進
- 諫早南部土地区画整理



諫早駅交流広場



諫早駅



基本目標2

産業が 活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、
仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。



特色ある農業の振興

めざす姿

地域の特性を活かし、
 持続可能で魅力ある
 農業が発展しているまち



生産性向上など次世代につなげる農業の展開

市民の声

若い世代が農業に魅力を感じ、就農しやすくなるような支援の仕組みを整えてほしい。

耕作放棄地や遊休農地を有効に活用し、地域に人が集まる活気ある農村環境を整備してほしい。



施策の展開①

次世代につなげる
 農業づくり

【主な取組】

- 担い手の育成
- 農業の集団化・組織化の推進
- 農業生産基盤の整備
- 生産性向上のための支援
- ◎ スマート農業の導入支援
- ◎ 資源循環型農業への支援
- 優良家畜導入への支援
- ◎ 家畜防疫対策への支援

施策の展開②

農村集落の
 環境づくり

【主な取組】

- 多面的機能の活動支援
- 中山間地域への支援
- 環境保全型農業への支援



環境保全を意識した農業生産

施策の展開③

有害鳥獣の対策
 強化及び利活用

【主な取組】

- 有害鳥獣の被害防止対策
- ◎ ジビエの活用及び消費拡大



ジビエを活用した料理

施策 2-2

循環型林業の推進

めざす姿

「伐^きって、使^って、植^えて、育^てる」
森林資源の循環利用を推進し、
持続可能な森林・林業が
発展しているまち



ツクシシャクナゲ

市民の声

林業の大切さを広め、体験や人材育成の機会を通じて林業に関心をもってもらう取組が必要だと思う。

自然と関わる仕事の人材育成を進め、森林の魅力伝えてほしい。森林は防災や水源に重要なので、保全と活用を進めてほしい。



施策の展開①

将来にわたって
安定した
林業の推進

【主な取組】

- ◎ 低コスト化・省力化等の推進
- ◎ 担い手の育成・確保
- ◎ スマート林業の推進
- ◎ 花粉発生源対策の推進

施策の展開②

魅力ある森林づくり

【主な取組】

- ◎ 市民に親しまれる森林の整備
- ◎ 市民や企業による森林づくりの支援
- ◎ 木材利用の推進



市民参加による森づくり

施策の展開③

森林の多面的
機能の強化

【主な取組】

- ◎ 森林経営管理制度の推進
- ◎ 広葉樹林や針葉樹林の整備促進
- ◎ 多面的機能の活動支援
- ◎ 里山林の維持・整備の推進

3つの海が育てる水産業の振興

めざす姿

3つの海に囲まれた

特性を活かし、持続可能で

魅力ある水産業が発展しているまち



水産業の振興(牡蠣やヒオウギ貝養殖)

市民の声

海産物が豊富にとれる漁場を守り育てていく取組が必要だと思う。

地元の海産物の魅力を内外に発信できるような漁業の仕組みづくりが必要だと思う。

潮干狩りなど海辺での体験を通じて、子どもから大人まで楽しめるにぎわいのある海辺のまちをつくっていくことが大切。



施策の展開①

豊かな漁場の回復

【主な取組】

- ◎ 稚魚の放流等による資源の維持
- ◎ 漁場を維持するための活動支援
- ◎ 資源を育てる藻場や浅場の保全

施策の展開②

魅力的な漁業の創出

【主な取組】

- ◎ 新しい漁法や養殖方法の推進
- ◎ 3つの海の魅力発信イベントの開催
- ◎ 付加価値の高い水産物の産地化
- ◎ スマート水産業の推進

施策の展開③

活気のある海辺づくり

【主な取組】

- ◎ 安全安心な漁港や海辺の整備
- ◎ 漁業をつなぐ担い手の確保・育成
- ◎ 地域の魅力を活かした海業の振興

個性と魅力あふれる商工業の活性化

めざす姿

活気ある商店街と

中小企業が発展しているまち



マルシェイベント(アエル中央商店街)

市民の声

食や音楽などのイベントで、夜間もまちなかに活気を生み出したい。

商店街に人とお店を呼び込み、賑わいを取り戻してほしい。

小規模事業者や個人店への税制経営支援を充実させてほしい。

地元資源を活かしたビジネスを育て、地域経済を元気にしてほしい。



施策の展開①

商店街など
中心市街地の
賑わい創出

【主な取組】

- ◎ 商店街集客イベントへの支援
- ◎ 商店街魅力向上の支援



商店街でのイベント

施策の展開②

中小企業等への支援

【主な取組】

- 市制度融資の充実
- 商工団体活動への支援
- ◎ 中小企業者への税制支援

安定した雇用の創出

めざす姿

地場産業の振興と企業誘致の
 促進により地域産業の活性化と
 雇用の安定・拡大が図られるまち



産業集積地域

市民の声

若者が地元に着定できるよう、安定した雇用と高い賃金を提供できる企業の誘致を進めてほしい。

創業支援施設や工業団地の整備を進め、新たなビジネスや働く場を生み出すことが大切。

若い人材が活躍できるよう、起業支援や人材育成の仕組みを充実させてほしい。



施策の展開①

企業誘致及び
 既存企業の投資拡大

【主な取組】

- ◎ 工場等の設置奨励
- ◎ 製造業誘致活動の強化
- ◎ 工業用水の整備促進



企業誘致による工場等設置

施策の展開②

新たな産業団地の
 整備促進

【主な取組】

- ◎ 諫早平山産業団地の整備促進

施策 2-6

新たな活力の創出と人材育成(再掲)

めざす姿

地域産業を担う人材が育ち、
地元での就職や起業が
活発に行われているまち



いさはやコンピュータ・カレッジの授業風景

市民の声

創業支援施設などの整備を進め、新たなビジネスや働く場を生み出すことが大切。

起業や研究開発に挑戦しやすい環境を整え、新たな価値創出を促進してほしい。

若い人材が活躍できるよう、起業支援や人材育成の仕組みを充実させてほしい。

商業や娯楽など生活面の充実も含め、若者が地元で働きたくなる環境があると良い。



施策の展開①

新規ビジネス支援

【主な取組】

- ◎ 創業支援ワンストップ窓口の開設
- ◎ 市制度融資の充実

施策の展開②

地域産業を支える人材の確保・育成

【主な取組】

- ◎ 職業訓練校の支援
- ◎ 人材育成機関の支援 (IT人材など)
- ◎ ハローワークとの連携による人材確保

施策の展開③

若者の地元就職の促進

【主な取組】

- ◎ 企業と高校との情報交換会の開催
- ◎ 若者向け県内企業説明会の開催



アエル中央商店街



道の駅251
いいもりじゃがーロード



広大な畑作地帯
(飯盛地域)



基本目標3

人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、
多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。



学びと夢を育てる学校教育の充実

めざす姿

豊かな学びと夢や将来への
あこがれを持った子どもたちや
若者であふれるまち



確かな学力を育成する学校教育

市民の声

障害のある子や不登校の子も学べるよう、理解促進やフリースクールの整備も必要だと思う。

多様な体験や新しい学びの機会を取り入れ、子どもの個性や質の向上が大切だと思う。

給食費の無償化や教育費の軽減を進め、誰もが安心して学べる環境が必要だと思う。

教員の業務負担を減らし、子どもと丁寧に关わる教育体制が大切だと思う。

校舎や施設の老朽化を改善し、どの学校でも安定した学習環境を整えてほしい。



施策の展開①

個性と創造力を伸ばす教育

【主な取組】

- ◎ 確かな学力の育成
- ◎ 健やかな体の育成
- ◎ 読書活動の推進
- ◎ ふるさとキャリア教育の推進
- ◎ 国際理解教育の推進
- ◎ ICT*活用教育の推進
- ◎ 学校における指導体制の充実
- ◎ 特別支援教育の充実

施策の展開②

教育環境の充実

【主な取組】

- 安全安心で快適な学校施設の整備
- 効率的で安全安心な学校給食の推進
- 奨学金制度の推進
- ◎ 小中連携の充実による魅力あふれる学校づくり
- ◎ コミュニティ・スクールの推進
- ◎ 部活動の地域展開
- ◎ 地域に根付いた大学との連携

施策の展開③

心がふれあう安全な学校環境づくり

【主な取組】

- ◎ 心の相談体制の充実
- ◎ 豊かな心を育むいじめ防止・不登校対策
- ◎ 学校における働き方(働きがい)改革の推進

*ICT：インターネット等を使ってコミュニケーションを図る技術

施策

3-2

地域で支える青少年の健全育成

めざす姿

地域の子どもが地域で育ち、
 そこで育った子どもが将来、
 その地域の子どもを育てる好循環のまち



地域と連携した青少年健全育成

市民の声



子どもたちが地域と関わりながら人とのつながりや学びを深められる環境が大切。

安心して過ごせる地域の居場所を増やし、子どもを見守る環境をつくってほしい。

地域や社会とのつながりを感じられるような教育の充実が必要だと思う。

地域全体で子どもを育てていくという意識や仕組みを広げていくべきだと思う。

施策の展開①

豊かな人間教育

【主な取組】

- ◎ 地域学校協働活動の推進
- ◎ 人権教育の推進
- ◎ 体験活動の充実

施策の展開②

家庭・地域の連携による青少年健全育成

【主な取組】

- ◎ 家庭教育の充実
- ◎ 地域社会の教育力の向上
- ◎ サポートネットワークの整備・充実

世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

めざす姿

市民誰もがいつでも快適に

学習機会へアクセスでき、そこで得た

知識や能力を地域社会の中で発揮できるまち



生涯学習の推進(公民館講座)

市民の声

学校外でも気軽に学べるスペースを増やしてほしい。

図書館の蔵書の充実や開館時間の延長を進めてほしい。

若者や地域の人々が気軽に集まれる、くつろぎながら学べる図書館づくりが必要だと思う。

子どもから社会人まで、多様な講座を通じて幅広く学べる環境が必要だと思う。

在宅ワークや資格取得、趣味など、目的に応じた学び直しの場を充実させてほしい。



施策の展開①

学びの場の充実

【主な取組】

- ◎ 公民館・社会教育施設機能の整備・充実



多良見のぞみ会館

施策の展開②

生涯学習の充実

【主な取組】

- ◎ 多様な学習機会の提供
- ◎ 新たな人材発掘・育成
- ◎ 学習成果を活動につなげるシステムの構築
- ◎ 社会人の学び直し(リスクキリング※・リカレント教育)※の推進

施策の展開③

「図書館のまち諫早」の推進

【主な取組】

- ◎ すべての市民に開かれた読書環境づくり
- ◎ 子どもの読書活動の推進
- ◎ 図書館ボランティア、地域人材との協働
- ◎ 多彩なイベントによる情報発信
- ◎ 様々な課題解決に向けたレファレンスサービス※の充実
- ◎ 図書館におけるデジタル技術の導入と活用

※リスクキリング：社会の変化に対応するため業務に必要な知識や技術を学ぶこと

※リカレント教育：社会人の学び直し

※レファレンスサービス：身近な疑問や質問、調査や研究について情報を探すお手伝いをするサービス

施策

3-4

女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

めざす姿

互いが対等な立場で希望する活動に参画し、自分の個性や能力を生かして、各々の場で活躍することができるまち



市民の声

家庭や職場における男女の役割格差をなくしてほしい。

管理職や議員などに、女性を積極的に登用してほしい。

家事や育児、働き方を男女で共同して担う意識を社会全体に広げていく必要があると思う。

性別にかかわらず、誰もが能力を発揮できる社会を実現していくべきだと思う。

施策の展開①

男女共同参画意識の浸透

【主な取組】

- ◎ 各種講座の開催等による男女共同参画の啓発
- 推進体制の強化
- 女性相談業務の実施

施策の展開②

女性の能力発揮・人材育成と登用促進

【主な取組】

- 市審議会等の委員への女性の登用促進
- ◎ 女性活躍推進人材育成
- 女性の社会参画促進への支援

恒久平和の推進と人権意識の醸成

めざす姿

まち全体が世界の恒久平和を願い、人を思いやる
 気持ちを持った子どもや若者であふれるまち
 すべての人の尊厳や人権が守られ、安心していきいきと
 暮らすことができ、個性や価値観を認め合う住みやすいまち



平和のつどい

市民の声

若い世代を含め、平和の大切さを学ぶ機会をもっと広げてほしい。

未来に向けて、平和を大切にする意識を育てていくことが重要だと思う。



施策の展開①

平和都市諫早宣言の
理念の継承と推進

【主な取組】

- 平和教育の推進
- ◎ 恒久平和の実現へ向けた意識啓発と継承活動



戦争・被爆体験証言映像の公開

施策の展開②

人権を尊重する
社会づくり

【主な取組】

- 人権擁護活動の推進
- 人権尊重意識醸成の推進
- 人権教育の推進

基本目標4

誇りと賑わいの あるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、
市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。



歴史と文化が息づくまちづくり



眼鏡橋 (国指定重要文化財)

めざす姿

歴史を学び、自然と文化を大切に守り、
次世代へ継承しながら、地域の誇りと
して生かすまち

市民の声

地域に残る独自の歴史や文化財の保存活用を大切に、後世にしっかり伝えてほしい。

子どもが地域の伝統芸能や祭りにふれる機会を増やし、文化への愛着を育てられる環境を整えてほしい。

まだ知られていない伝統や祭りを発信し、観光や交流の活性化につなげる工夫が必要だと思う。



施策の展開①

文化財の保存による
歴史文化と
自然の継承、発展

【主な取組】

- 文化財等の保存整備
- ◎文化財の環境整備
- ◎歴史発掘（歴史文化の掘り起こし）
- 文化財の調査研究
- 伝統文化の継承

施策の展開②

文化財を活用した
交流人口の拡大

【主な取組】

- ◎文化財活用事業
- ◎歴史街道観光活用事業
- ◎ゆかりの地交流事業



エーセルテレカラフ (電信機)
(国指定重要文化財)



水ノ浦のススキ漁場(市指定有形民俗文化財)



菜の花忌(伊東静雄の顕彰)

地域から生まれた著名な文化人を顕彰し、市民が誇りを持つような取組を進めてほしい。

若者や多様な世代が文化活動に参加できるよう、関わりやすい体制を整えてほしい。

伝統文化の継承に向け、市が積極的に支援し、若者や多世代が関われる仕組みを整えてほしい。



施策の展開③

芸術文化の顕彰

【主な取組】

- ◎ 学校における芸術文化振興
- 郷土出身の文化人の顕彰



学校における芸術文化振興

施策の展開④

芸術文化にふれる
機会の創出

【主な取組】

- ◎ 芸術・芸能鑑賞機会の創出
- 地域の文化・歴史等の学習の場づくり
- ◎ 美術・歴史館の運営



美術・歴史館

施策の展開⑤

市民の芸術文化活動の支援

【主な取組】

- 文化団体の活動支援
- ◎ (仮称) 市民交流センターの整備

スポーツ・レクリエーションの振興



本明川水上競技場

めざす姿

誰もが身近にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境を整備し、年齢や障害の有無に関わらず健康で活力あるまち

市民の声

誰もが利用しやすいよう、スポーツ施設の設備や駐車場の整備、利用時間の延長や料金の見直しを進めてほしい。

ローイングなど特色ある競技の普及や、強豪校の育成に向けた練習環境の整備も重要だと思う。

公園やバスケットコートの整備、スポーツイベントの充実など、市民が日常的に体を動かせる環境づくりが必要だと思う。



施策の展開①

スポーツ拠点施設の充実

【主な取組】

- スポーツ競技施設の整備・充実
- ◎スポーツ拠点施設・競技施設の利用促進
- ◎民間活力を生かしたスポーツ環境づくり

施策の展開②

スポーツによる交流人口の拡大

【主な取組】

- ◎スポーツ大会・合宿等の誘致
- ◎広域スポーツイベントの展開による魅力発信
- ◎スポーツ交流の推進

施策の展開③

スポーツ競技力の向上

【主な取組】

- スポーツ競技力向上の支援
- スポーツでの貢献・活躍を表彰・支援



スポーツパークいさはや



プロ選手によるスポーツ教室

高校生が小中学生に指導するなど、スポーツを通じた世代間交流の取組を広げていくことが大切。

全国大会の誘致や著名選手との交流を通じて、地域の活性化やスポーツへの関心の高まりにつなげてほしい。



施策の展開④

生涯スポーツの振興

【主な取組】

- 地域スポーツ・レクリエーション環境の充実
- 総合型地域スポーツクラブの推進
- ◎ スポーツへの参加促進

おもてなしの心による観光振興



小長井フルーツバス停

めざす姿

自然景観やまつりなどの観光資源を磨き、
観光地としての魅力を高め、訪れる方を
笑顔にするまち

市民の声

諫早の特産品や観光資源を活かし、「また来たい」と思われるような滞在環境や情報発信の強化が必要だと思う。

のんご祭りや川まつりといった行事に、地元の店や市民がより深く関わることで、地域全体で観光を支える意識が育つと思う。

高校生による観光マップ作成やおみやげ開発コンペなど、市民が自ら魅力を発信できる仕組みもあると良い。

観光を「見るだけ」から「関わる」ものへと広げ、地域と来訪者のつながりを深める工夫が必要だと思う。

施策の展開①

観光地域づくりの推進

【主な取組】

- 観光情報の発信
- ◎ 体験型観光の推進
- ◎ インバウンドの受入拡大
- ◎ 広域観光の推進
- ◎ 受入体制の整備

施策の展開②

市民参加型イベントの推進

【主な取組】

- ◎ 諫早三大まつりの実施及び支援
- ◎ 賑わい創出イベントへの支援



のんご諫早まつり

施策 4-4

ふるさとの物産づくり



めざす姿

魅力ある地場産品の販売促進等に
取り組み、地域経済の更なる活性化
を目指すまち

市民の声

「諫早といえばこれ」と言われるような土産品や特産品を開発し、地域のブランド力を高める取組が必要だと思う。

若者や生産者が参加する商品開発や、地元食材を使った新メニューづくりに力を入れてほしい。

うなぎや果物など、諫早の魅力ある食材を全国に向けて積極的に発信していくことが大切。

市内の飲食店などで、諫早産の食材をもっと手軽に楽しめるようにし、地産地消を促進すべきだと思う。

地元の農産物の魅力を広く発信し、ブランド化や規格外品の活用などを進めてほしい。

施策の展開①

地場産品の開発・研究

【主な取組】

- ◎ 新たな地場産品の開発支援
- ◎ 6次産業化※に向けた支援
- 農産物ブランド化の支援
- ◎ 産地拡大の支援
- ◎ 付加価値の高い水産物の産地化
- ◎ 地場産品のブラッシュアップ※

施策の展開②

地場産品の普及・販売促進

【主な取組】

- ◎ ふるさと納税の返礼品としての活用促進
- ◎ 物産展等への出展
- ◎ 販売促進の支援
- ◎ 道の駅や直売所等による地場産品の普及促進及び販路拡大の推進
- ◎ 3つの海の魅力発信イベントの開催

※6次産業化：1次産業（農林漁業）従事者が自ら連携して加工（2次産業）・流通や販売（3次産業）に取り組み経営の多角化を進めること
※ブラッシュアップ：磨き上げ、改善・向上させること

水とみどり豊かな環境づくり



市民が親しめる水辺空間づくり

めざす姿

市民参加による緑化推進や河川美化に努めるとともに、市民の集う憩いの場として利用される公園や水辺の空間づくりによる、水とみどり豊かなまち

市民の声

老朽化した公園遊具の修理・整備を進め、安全に使用できるようにしてほしい。

諫早公園や眼鏡橋など、歴史資源を活かしたまちなかの公園整備を進めてほしい。



緑や花があふれる美しい景観を、まちの魅力として積極的に活用してほしい。

花と緑にあふれるまちは、子育て世帯や来訪者にとっても安心できる環境になると思う。



施策の展開①

公園・緑地の整備

【主な取組】

- ◎ 公園施設の計画的な維持管理
- ◎ 造成に伴う新たな都市公園の整備
- ◎ 官民連携による公園の整備・運営の推進

施策の展開②

花と緑に囲まれたまちづくり

【主な取組】

- 花いっぱい運動の推進
- ◎ 緑の基本計画の策定
- 植物に関する疑問・相談を花医・樹医が助言



花いっぱい運動

施策の展開③

水とみどりに親しむまちづくり

【主な取組】

- ◎ 市民参加による水辺空間の利活用の推進
- 生き物とひとにやさしい水環境の創造
- ◎ 水辺空間を活かした賑わいの場の創出



山茶花高原ピクニックパーク



市民参加による水辺空間の活用

白木峰や轟の滝、本明川沿いの自転車道など、自然資源を活かした施設や環境整備を充実させてほしい。



施策の展開④

本明川に親しむまちづくり

【主な取組】

- 本明川を活かした賑わいの場の創出
- ◎ 本明川桜づつみの継続的な利活用の推進



本明川桜づつみ

未来につながる環境の保全



ゼロカーボンシティいさはやロゴマーク

めざす姿

自然環境や生態系を守り、暮らしやすい
環境を次世代へつなぐまち

市民の声

諫早市の自然豊かな環境を大切に守り、次の世代に引き継ぎたい。



私たちの住む地域だけでなく、地球全体の環境を考えて、地球温暖化対策やごみ問題に取り組んでほしい。



施策の展開①

自然と共生する
暮らしの推進

【主な取組】

- ◎生活環境や自然環境の保全
- 環境教育や意識啓発の推進



いさはやエコフェスタ

施策の展開②

脱炭素と資源循環型
社会の実現

【主な取組】

- ◎ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進
- ◎ごみ減量化や再資源化の推進



諫早市環境キャラクター
エコ太

施策 4-7

市民協働の諫早プロモーション(再掲)



シティプロモーションサイト「カラフル諫早」

めざす姿

「住み続けたい」、「住んでみたい」と感じてもらえる、誰にとっても「住みよい」、「選ばれる」まちの実現のため、市民が地元に対して誇りや愛着を持ち、行政と共に市の魅力発信を行うまち

市民の声

県外の人にも諫早の魅力が伝わるよう、新たなPR手法も取り入れてほしい。

自然が身近にあり、自然と共生する暮らしの価値をもっと発信していく必要があると思う。

諫早には自然や食など魅力的なものが沢山ある。その魅力を県外の人にもっと知ってもらいたい。



施策の展開①

シティプロモーションの推進

【主な取組】

- シティプロモーション戦略に基づく施策の推進
- ◎ふるさと納税制度を活用した地域資源のPR



施策の展開②

広報広聴の充実

【主な取組】

- 広報諫早の充実
- ◎ホームページ、SNS等を活用した積極的な情報発信
- ◎市民の声を大切にした広聴活動の推進
- ◎効果的な広報のための体制構築

施策の展開③

選ばれるまちづくり

【主な取組】

- ◎出会いのきっかけづくり
- ◎きめ細かな移住相談
- ◎空き家バンクの利用促進
- ◎地域おこし協力隊と連携した情報発信
- ◎新生活の実現を支援



移住相談会



道の駅を活用した
地場産品の普及促進



都市部での特産品等の
魅力発信



基本目標5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる
機能的なネットワーク型のまち基盤を創る。



安心できる地域福祉の推進

めざす姿

地域共生社会の実現に向けた基礎を築き、
 地域福祉活動を継続的に実施するため、
 その役割を担う人づくりを目指すとともに、
 公助※の役割の着実な推進に努め、地域福祉を支えるまち



諫早市社会福祉大会

※公助：市町村などの公的機関による援助

市民の声

隣近所で助け合えるような意識を高める取組が重要だと思ふ。

支援を必要とする人に寄り添えるよう、地域福祉を支える人材の育成と支援体制の強化が必要だと思ふ。



施策の展開①

地域福祉を担う
 人づくりと
 支える仕組みづくり

【主な取組】

- ◎ 民生委員・児童委員への支援
- ◎ ボランティア活動等への支援
- ◎ 生活困窮者の自立に向けた支援
- ◎ 地域福祉活動の拠点の場づくり
- ◎ 関係団体との連携強化
- ◎ 重層的な支援体制の整備
- ◎ 権利擁護の推進

施策の展開②

共に支え合う
 地域づくり

【主な取組】

- 地域における見守りの推進
- ◎ 地区(校区)社会福祉協議会活動の推進

施策

5-2

健康づくりと保健・医療の充実

めざす姿

市民の健康維持・増進が
日常生活に根付き、
地域医療体制が継続され、
安心して暮らせるまち



相談による健康の維持・増進

市民の声

健康診断や病気を未然に防ぐ、予防の取組を一層充実させてほしい。

市民がより手軽に健康づくりに取り組める環境を整えることが必要だと思う。



施策の展開①

健康づくりと保健予防の推進

【主な取組】

- ◎ 健康いさはや21*の推進
- ◎ 食育の推進
- 生活習慣病予防の推進
- ◎ 健康教育・健康相談の実施
- ◎ 健康診査の実施

施策の展開②

保健・医療の連携

【主な取組】

- ◎ 国民健康保険の適切な運営
- 安心安全な地域医療体制の継続

*健康いさはや21：市民の生活習慣病予防と健康寿命の延伸を目指す市民総ぐるみの健康増進計画

明るく活力ある長寿社会の実現

めざす姿

高齢者が住み慣れた地域で、
自分らしい暮らしを、安全・安心に、
人生の最後まで続けられるまち



若返り体操教室

市民の声

高齢者が地域でその力を発揮できるよう、活動の場や社会参加の機会をもっと増やしてほしい。

高齢者が役割を持って地域に関わり、生きがいを感じられるような仕組みづくりが必要だと思う。

施策の展開①

介護サービス基盤の整備

【主な取組】

- ◎ サービス提供・支援体制の構築
- ◎ 介護人材の確保、定着基盤の構築
- ◎ 職場環境改善、生産性向上の推進

施策の展開②

高齢者が活躍できる地域づくり

【主な取組】

- ◎ 介護予防教室の開催
- ◎ 住民主体の介護予防活動の支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信
- ◎ 高齢者の社会参加の促進



介護予防と生活支援の語らん場



フレイル予防教室



ふれあいいきいきサロン



介護予防サークル



施策の展開③

高齢者が安心して暮らせる地域づくり

【主な取組】

- ◎ 相談窓口の機能強化
- ◎ 認知症に関する情報発信
- ◎ 認知症サポーターの養成
- ◎ ACP (アドバンス・ケア・プランニング)※の普及
- ◎ 在宅医療・介護に関する情報発信と相談支援
- ◎ 多職種の対応力向上と協働支援
- ◎ 地域での支え合い体制づくり
- ◎ 住まい確保のための支援

施策の展開④

生きがいを持てる地域づくり

【主な取組】

- ◎ ふれあいいきいきサロンの活動支援
- ◎ 集いの場や生活支援の住民活動を情報発信(再掲)

※ACP (アドバンス・ケア・プランニング)：いつか来る自分の最後に備え、自分が望む医療やケアについて事前に考え家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組

自立と共生の障害者支援

めざす姿

障害のある人が、誰一人取り残されることなく、あらゆる社会活動に参加・参画することができるまちづくりに努め、障害のある人もない人もそれぞれの役割と責任を共に果たせる共生のまち



共生イベントでの一コマ
～手話に親しむ～

市民の声

もっと若い人に障害を理解してほしい。

就労支援をもっと積極的にやってほしい。

障害者でも明るく楽しいまちであってほしい。



施策の展開①

シームレスな
(切れ目のない)
支援の展開

【主な取組】

- ◎ 自立支援給付等による日常生活の支援
- ◎ 障害のある児童に対する教育・療育の充実
- ◎ 医療・保健・福祉の連携の推進

施策の展開②

社会参加の促進

【主な取組】

- ◎ 安心・安全な生活環境の整備
- ◎ バリアフリーの推進
- ◎ スポーツ・芸術・文化活動の振興
- ◎ 雇用・就労の推進

施策の展開③

支えあいのしくみづくり

【主な取組】

- ◎ 障害に対する理解促進
- ◎ 防犯・防災体制の確立

施策

5-5

総合的な防災体制の強化

めざす姿

自助・共助・公助※の概念のもと、相互が連携しながら被害を最小限に抑えるため、いつ起こるかわからない災害の発生に備えた防災・減災の取組による、災害に強いまち



流域治水による防災・減災

※自助：自分自身の身の安全を守ること 共助：周囲の人たちが協力して助け合うこと 公助：市町村や消防など公的機関による救助・援助

市民の声

本明川流域ハザードマップで危険とされる地域には、重点的な災害対策が必要だと思う。

防災無線が屋内で聞こえにくいので、放送内容の改善や屋内でも情報が届く手段の整備を行ってほしい。

災害を未然に防ぐためのインフラ整備を計画的に進めてほしい。

安心して避難できるように、設備が整った避難所を充実させてほしい。



施策の展開①

治水対策の促進

【主な取組】

- ◎ 流域治水による減災・防災の実現
- ◎ 計画的な排水施設の改修・維持管理
- ◎ 河川改修の推進
- ◎ 河道浚渫の推進
- ◎ 本明川ダム建設事業の整備促進



本明川ダム(イメージ)

施策の展開②

危機管理体制の強化

【主な取組】

- ◎ 地域住民・団体等の防災意識を高め、自発的な防災活動への支援による地域防災力の向上
- ◎ 避難所環境や備蓄品の充実
- ◎ 防災分野でのデジタル技術の活用
- ◎ 消防団の組織強化及び装備充実
- ◎ 有事に備えた国民保護体制の充実
- ◎ 災害弱者や男女共同参画の視点に立った防災の推進

施策の展開③

土砂・海岸災害を未然に防ぐインフラ※整備

【主な取組】

- 急傾斜地対策の推進
- ◎ 海岸災害の予防保全



急傾斜地崩壊対策

※インフラ：産業や社会生活の基盤となる施設

交通安全・防犯意識の推進

めざす姿

交通事故や犯罪、消費者被害などが
起こりにくい環境づくりを推進し、
誰もが安全・安心に暮らせるまち



通学路における交通安全の推進

市民の声

交通ルールを守る意識を高めるため、日常的な呼びかけや啓発活動を強化してほしい。

夜間の安全確保のための取組を推進してほしい。

安全運転や歩行者優先の意識を広め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める必要があると思う。

見通しの悪い場所や人通りの少ない道での安全対策を行ってほしい。

施策の展開①

交通事故のないまちづくり

【主な取組】

- ◎ 関係団体と連携した交通安全思想の普及や啓発活動による交通安全意識の向上
- ◎ 通学路の交通安全対策の推進
- ◎ 交通安全施設の維持・整備

施策の展開②

犯罪のないまちづくり

【主な取組】

- 犯罪のない安全な地域づくりの推進
- ◎ 防犯情報の発信による犯罪被害の未然防止
- 子どもの安全見守り活動

施策の展開③

相談体制の充実

【主な取組】

- ◎ 消費者被害の救済と被害防止
- ◎ 各種専門家等による相談の実施

施策

5-7

安全・安心な暮らしを支える 基盤づくり

めざす姿

安全・安心に暮らせる
強靱な生活基盤を築き、
未来にわたる安心と豊かさを
市民が享受できるまち



伊木力浄水場



市民の声

街がきれいで、賑やかな場所と静かな場所が共存している点が魅力だと思う。

住みやすさを感じるまちの魅力を活かし、生活基盤の整備を今後も進めてほしい。

公共施設が清潔に保たれていることは、市民に安心感を与えるため、今後も維持改善を続けてほしい。

施策の展開①

上水道の耐震化事業の推進と経営の安定化

【主な取組】

- 水道施設の更新・整備
- 管路の更新・耐震化
- ◎ 持続可能な料金体系の検討

施策の展開②

生活排水対策の推進と持続可能な事業運営

【主な取組】

- 公共下水道管渠の整備
- ◎ 処理場等施設の更新・耐震化
- ◎ 農業集落排水施設の公共下水道への統合
- ◎ 維持管理業務への包括的民間委託導入
- ◎ 水洗便所改造資金利子助成
- 浄化槽設置費の補助

施策の展開③

生活基盤の整備

【主な取組】

- ◎ 生活基盤を支える公共土木施設等の維持補修の推進
- 空き家等の適正管理の推進
- ◎ バリアフリー・安全型リフォーム支援
- 市営住宅の適正管理
- 公共施設バリアフリー率先整備の推進

暮らしと経済を支える 交通基盤の整備

めざす姿

人や物の移動を円滑化し、
誰もが暮らしやすく、働きやすく、
訪れやすいまち



バス路線の維持・確保

市民の声

通勤時間帯の交通混雑を解消するため、道路整備を進めてほしい。

市内全体の道路ネットワークを見直し、移動しやすい環境づくりが必要だと思う。

車道と歩道の整備を充実させ、歩行者と車の双方が安心して通れるようにしてほしい。

バスや電車の本数が少なく、車がないと不便なので、利用しやすい公共交通の充実を望む。

地域コミュニティバスや乗合タクシーなど、多様な移動手段を整備して生活の足を確保してほしい。

施策の展開①

道路ネットワークの構築

【主な取組】

- ◎ 高規格幹線道路の整備促進（島原道路、有明海沿岸道路）
- ◎ 一般国道及び一般県道の整備促進
- ◎ 市街地の交通渋滞対策の推進
- ◎ 都市計画道路の整備推進
- ◎ 地域間を連絡する市道の整備推進

施策の展開②

市民生活における 移動手段の確保

【主な取組】

- ◎ バス路線の維持・確保と見直し
- ◎ 乗合タクシーなどの運行による地域の足の確保
- ◎ 地域鉄道維持のための事業者支援
- ◎ 既存の公共交通の廃止などの場合における代替手段となる移動サービスの導入



整備中の島原道路(尾崎交差点付近)



コミュニティバスの運行(小長井地域)

市民の声

特定エリアの交通渋滞解消に向けて、道路の見直しや信号制御の改善など効率的な交通誘導策を進めてほしい。

西九州新幹線の直通運転を早期に実現できるように、国や県と連携して整備を進めてほしい。



施策の展開③

交通渋滞対策の推進

【主な取組】

- ◎ 渋滞発生要因や対策に関する調査研究
- ◎ 官民連携による渋滞緩和策の推進

施策の展開④

九州新幹線西九州ルート(新鳥栖～武雄温泉間)のフル規格による整備促進

【主な取組】

- ◎ 早期整備に係る要望活動
- ◎ 関連イベントの開催



新幹線関連イベント

施策の展開⑤

港湾の整備

【主な取組】

- ◎ 海上輸送能力と漁業活動の向上に資する港湾施設の整備



港湾整備(小長井港)

4 まちづくり計画の推進方策

● 健全で効率的な行財政運営の推進

質の高い市民サービスを持続的に提供し続けるためには、健全で効率的な行財政運営が不可欠です。そのため、行政改革の推進や柔軟な組織運営に取り組むとともに、デジタル技術の活用や入札・契約事務の電子化などにより、行政事務の効率化を図ります。

また、安定した財政基盤を確立するため、ふるさと納税制度の積極的な活用や自主財源の確保に努めるとともに、公共施設等の適正管理や地籍調査事業の着実な実施などにより、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現します。

主な取組

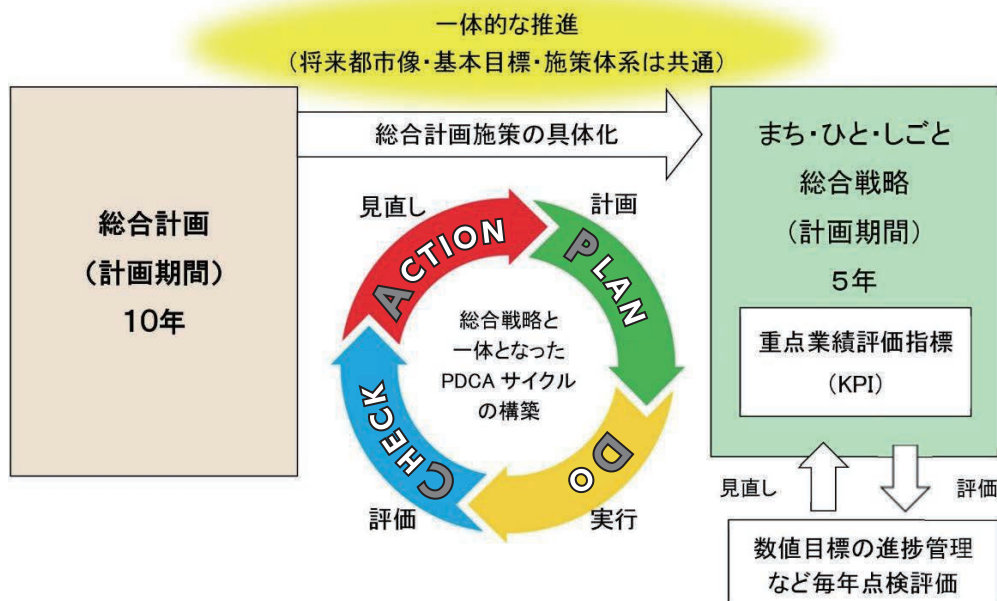
- 行政改革の推進
- 柔軟な行政組織運営
- ◎ デジタル技術を活用した行政の効率化
- ◎ 健全で持続可能な財政運営
- ◎ ふるさと納税制度を活用した地場産業の活性化と新たな自主財源の確保
- ◎ 入札・契約事務の電子化の推進
- ◎ 公共施設等の適正管理の推進
- 地籍調査事業の実施

● インクルーシブ(包括的)な社会づくりの推進

すべての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍などに関わらず尊重され、誰一人取り残されず、地域の一員として安心して参加し、活躍できる社会の実現に向け、各施策を推進します。

● 総合戦略と連動したPDCAサイクルの構築

総合計画の進行管理にあたっては、共通の目標及び施策体系で策定した「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標(KPI)を毎年評価・検証することで、計画の進捗状況を的確に把握し、総合戦略と連動したPDCAサイクルの構築により、まちづくり計画の着実な推進を図ります。





市章

諫早市の「い」の文字を6つの輪（旧1市5町）で構成し、「調和する美しい自然風景と歴史」、「元気に響き合う市民の心」、「未来へ飛躍する諫早市の姿」を表現しています。また、中央の白地が長崎県の「N」にも見え、県央に位置する諫早市を象徴しています。



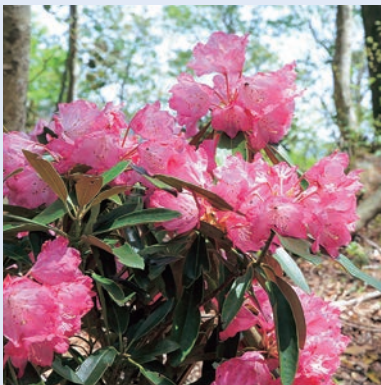
市の木

ヒゼンマユミ

◎肥前真弓

◎ニシキギ科 ニシキギ属

ニシキギ科の常緑樹で高さは8mほどになり、春に淡緑色の小さな花が開き、晩秋に熟してオレンジ色のきれいな実を付けます。国指定天然記念物である諫早山城山暖地性樹叢じゅそうの樹木の一つで、学術的にも貴重な本市を代表する木です。



市の花

ツクシシャクナゲ

◎筑紫石楠花

◎ツツジ科 ツツジ属

ツツジ科の常緑低木で高さは2～4mになります。春に淡紅色のきれいな花を付けます。多良岳ツクシシャクナゲ群叢ぐんそうは国指定天然記念物に指定されており、全国に誇ることができる貴重な花です。



諫早市

第3次諫早市総合計画 2026 - 2035

【企画財務部 企画政策課】

〒854-8601 長崎県諫早市東小路町7番1号

TEL:0957-22-1500

URL:<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/>

